



国際会長	「私たちは変えられる」	“Yes, We Can Change!”
スローガン	「挑戦への勇気」	“Courage to challenge”
アジア太平洋地域会長	「アクション！」	“Action!”
スローガン	「誇りと喜びを持って」	“With Pride and Pleasure”
東日本区理事	「為せば、成る」	“No challenge, No fruit.”

2019. 11. 15 発行 第2号通巻61号

理事主題『為せば、成る』 “No challenge, No fruit.”



副題『ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたが
ワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう。』

“Ask not what Y's can do for you.

Ask what you can do for Y's.”

東日本区理事 宮内 友弥（東京武蔵野多摩）

本年度、次の基本方針、取り組むべき課題を掲げて推進してまいりました。

I. 基本方針

- (1)リーダーがメンバーを動かすのではなく、メンバーが自ら動く組織に。
メンバーを支援して、目標達成に導く、奉仕型のリーダー（サーバントリーダーシップの実践）を目指す。ビジョンを示したうえで、コミュニケーションや信頼関係の構築を重視する。
- (2)キリストの愛の精神と YMCA サービスはワイズの拠り所、アイデンティティー。
自分のアイデンティティーを確認する為に必要、決して信仰を強制するものではない。
自分の自分であることの確認、自分が何に立っているのか、何を基盤にしているのか。
- (3)理念と改革
上記を念頭に置いた上で、現代社会で生き残るためには過去にとらわれず、ニーズに即した斬新なアイデアを。

II. 取り組むべき課題

- (1)組織の在り方再検討
- (2)Extension
- (3)YMCA との関係強化（イコールパートナーとして）
- (4)国際・エリアへの関与（国際クラブであるという自覚、国際クラブの一員としての責任）
- (5)外部への広報活動
- (6)東日本区定款改訂の仕上げと対応

I 基本方針として3項目を挙げておりますが、(1)のリーダーがメンバーを動かすのではなく、メンバーが自ら動く組織に（サーバントリーダーシップの実践）が、すべての活動の原点です。
次にII 取り組むべき課題として6項目を上げております。

本年度の達成目標、行事等詳細については年次活動報告書で見ていただくこととし、ここでは取り組むべき課題として挙げた項目を、この1年で完遂できなかったことへの反省も込めて今後どうすべきかとの観点から、この1年で出来たこと、出来なかったこと、その背景を振り返り、更には今後取り組むべき最優先課題を挙げて次年度以降に備えたいと思います。

1. 達成目標について

- (1)各種献金については、概ね順調に推移しました。ただし献金のトータル額は昨年より35万円少なくなっております。RBMへのアピール不足もありましたが、何と云っても会員数の減少の影響が反映された結果が出たものです。トロイカの一員として課題を次期に引き継いでいきます。
- (2)献金ゼロクラブは、6クラブと改善が見られました。
- (3)IBC、DBCについては、DBCトライアングル締結のみで、目標には届きませんでした。内外クラブとの交流の魅力を皆様今一度見直していただきたいと思います。なお7月の仙台エリア大会にて4クラブのIBCクワドラングル調印式が行われました。
- (4)新クラブ設立については、東京町田スマイリングクラブ（2019年2月24日 チャーター）、横浜つるみクラブ（2019年6月16日 チャーター）の2クラブで目標には及ばなかったものの、設立時のメンバー15人以上という制約を緩和した国際憲法の改正、更にはポータルバズ採用により認証状発行の手続きが大幅に短縮され実質申請即日を受け取れることが、判明。今後年間に3クラブ、4クラブの設立も夢ではなくなったと言えます。
- (5)JEFについては、お陰様で60万円と目標の50万円をクリア出来ています。

2. 会員数の現状

2017年7月1日		2018年1月1日		2018年7月1日		2019年1月1日	
会員数	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数	クラブ数
886	61	884	61	860	59	866	59
▲31	±0	▲2	±0	▲24	▲2	+6	±0

本年度は860名でスタート。直近期比マイナス24名です。

なお予算作成段階では、前期会員数920名でスタート、後期980名でスタートし最終的に1,000名を目標としました。5月15日現在43名の新入会員があったものの19名の退会者（内逝去された会員7名）があり、実質24名の純増に止まっています。この難問を克服するためには矢張り新クラブ設立が求められます。

3. 今後取り組むべき最優先課題

何としても先に申し上げました組織のあり方の検討（なканずく法人化再検討）の推進と会員増強運動の推進を喫緊の取り組むべき最優先課題として取り組まねばなりません。

(1)法人化再検討の推進について

第3回文献・組織検討委員会（2019年1月30日）で法人化の再検討のために小委員会を設置することを提案し、設置が認められました。当面は私を含め7名の委員で文献・組

織検討委員会の中で小委員会として活動する。今後は、少し時間をいただいて法人化検討小委員会にて進め方を検討し、検討内容を逐次文献・組織検討委員会に報告する形で進めます。

(2) 会員増強推進運動について

「Change!2022 推進委員会」(特別委員会)が発足し、次年度からのスタートに先立ち全クラブ会長、メンバー全員にアンケートを実施しました。この推進運動の中で外部への広報活動として挙げた認知度の向上を図るべく SNS を利用したワイズの宣伝活動も推進します。

本年度、理事としての役割を全うできたのは、皆様のお支えがあつてこそであります。改めて心より感謝申し上げます。

この1年の貴重な経験を生かしてこれからもワイズの発展に微力ながら尽くしたいと思えます。

次年度からは、トロイカの一員として山田理事を支え、今までの慣例ややり方に捉われず「勇気ある変革」を目指して全力でサポートしてまいります。

皆様、一致協力して東日本区を盛り上げましょう。

以上

追記：昨年度から国際協会による Best RD 賞の表彰が行われることになり、本年度の受賞区が発表されました。東日本区は、クラブ数が増えていることを評価され Bronze 賞を受賞しました。皆様の Extension へのご尽力に感謝です。



2019年7月のアジア太平洋地域大会（仙台）にて受賞の様子

国際協会、アジア太平洋地域報告

2018-2020 国際議員/アジア太平洋地域会長
田中博之（東京多摩みなみ）



この1年間、国際協会、アジア太平洋地域へのご支援、ご協力、誠にありがとうございました。まずは、仙台での第28回アジア太平洋地域大会を盛況の内に終えることができたことを感謝申し上げます。特に北東部の皆さま、仙台YMCAの皆さまの献身的なお働きに心からお礼を申し上げます。当初の目標の800名を上回る参加者のもと、天候にも恵まれ、そして何よりも、大会の目的であった東日本大震災被災地の復興状況を内外のワイズの皆さんに知っていただくということが十分に達成できたことを嬉しく思っています。

さて、仙台の大会に先立って、仙台YMCAを会場として、国際議会、アジア太平洋地域議会が開催されました。2019年7月の開催であり、この区報での報告事項の対象外ではありますが、良い機会ですので、この場をお借りして、以下に重要事項を列挙させていただきます。詳しくは区役員会等でご説明させていただきます。

今、世界のワイズは‘Challenge22’として、3年後に迎える国際協会創立100周年をターゲットとしてさまざまな取り組みを進めています。東日本区の皆さまには、東日本区‘Change!2022’の取り組みをご推進いただき、世界のワイズをリードしていただくことをお願い申し上げます。

<2019年国際議会での主な報告・議決事項>

- 会員数現況：2019年2月国際半年報で、65か国、1,455クラブ、25,213名
- 国際議員の各地域への割り当て数変更：アジア太平洋地域の会員数の増加により、同地域選出の国際議員が2020-2021年度から、これまでの1名から2名に増員される。
- 国際投票に関する特例規定の変更：昨年8月の麗水での国際議会にて、国際投票における会員数5～14名のクラブの特例（Exemption）の復活が議決されたが、今回、この規定に、「12月31日付で設立25年以上のクラブ」という条件を付け加えることが承認された。
- ワイズメネットがワイズウイメンになる際の国際会費の減額：‘Challenge22’の会員増強施策のひとつとして、2019-2022の3年度限定で、会員数15名以上のクラブにおいてワイズメネットがワイズメンバーになる際の国際会費を半額とすることが承認された。

<2019年アジア太平洋地域議会での主な報告・議決事項>

- 会員数現況：2019年2月国際半年報で14か国、224クラブ、3,660名
- 「ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産計画」献金の各区の目標金額：国際協会からアジア太平洋地域には3年間に100,000ドルの献金目標が設定されている。会員数で案分し、東日本区には23,661ドルの目標をお願いする。

宮内理事からバトンを受けて

次期理事 山田 敏明（十勝）



『為せば成る』の宮内理事主題の中、次期理事として活動して参りました。

第28回アジア太平洋地域大会 HCC 実行委員長として、東日本区のみならず、西

日本区までアピールに行きました。会議も山ほどあり、とても内容の濃かった1年となりました。お陰様でたくさんの皆様と新しい出会いと、貴重な体験が出来ました。

いよいよ7月より理事としての職務が始まりました。宮内理事の熱い思いと情熱を引き継ぎ、実りある1年にしていきます。何とか6月まで走り続けて、次期の板村理事へバトンを確実に渡せるよう頑張ります。

『勇気ある変革、愛ある行動！』の理事主題の下、みんなで力を合わせて行きましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

直前理事報告

栗本 治郎（熱海）



直前理事の役目は、トロイカの一員として理事を支えることですが、宮内年度キャビネットは、前年度より役員会、常任委員会等にオブザーバーとして出席されていて、まさに準備万端順調にスタートされ、多くの功績を残されました。

一方、直前理事の大切な役目に次期理事等の指名が有ります。毎年歴代理事が苦勞されておりますが、今期は次々期理事に大久保知宏さん（宇都宮クラブ）、監事に辻 剛さん（横浜つづきクラブ）を指名することができました。ワイズへの素晴らしい情熱をお持ちのお二人を選ぶことが出来ましたことは、私のワイズへの最大の功績です。なお、「2022年をゴールとする会員増強運動」のプロジェクトのChange!2022の委員長を2022年まで務めることになりましたので、一層の会員増強へのご協力を宜しくお願い致します！

各種献金、YVLF 負担金は各部でまとめ、東日本区に送金するようになって4年目です。献金の意味が深められるようにと、部長の皆さまには各クラブに呼びかけて頂きご苦勞をおかけしましたが、部内の様子や状況を把握して下さったのではないのでしょうか。又、その呼びかけに添えて下さったクラブの皆さま、ありがとうございました。お陰さまで献金ゼロのクラブは昨年より減りました。これからも区の会計に関心を寄せて頂きますようお願いいたします。

東日本区書記活動報告

板村 哲也（東京武蔵野多摩）



書記として、理事主宰の諸会議（常任役員会、役員会、年次代議員会）、区大会での司会進行や記録、区の広報活動などに携わるとともに、東西理事連絡

会、次期部長・事業主任研修会、次期会長・部役員研修会、部大会、クラブ例会、常置委員会、事業委員会、西日本区の大会など、時間の調整がつく限り理事と行動を共にし、区の諸活動に参加致しました。

至らぬ点が多々ありましたが、理事ご指導のもと、副書記、区事務所長をはじめキャビネットの皆様を支えられ、また役員、会員の皆様のご協力で任期を終えることが出来ました。短時間ではありましたが密度が高く内容の濃い1年間で、区運営のお世話役の一人として活動をしながら、一方で多くを学ばせて頂きました。皆さま本当に有難うございました。

何かのご縁で、7月からは次期理事を務めさせて頂きます。引き続きよろしくお願いいたします。

会計活動報告

長谷川 あや子（東京八王子）



2019-20年度第1回役員会にて2018-19年度東日本区会計決算の承認を得、区会計のお役を終えることができました。各クラブの皆さま、ご協力ありがとうございました。

ありがとうございました。

各種献金、YVLF 負担金は各部でまとめ、東日本区に送金するようになって4年目です。献金の意味が深められるようにと、部長の皆さまには各クラブに呼びかけて頂きご苦勞をおかけしましたが、部内の様子や状況を把握して下さったのではないのでしょうか。又、その呼びかけに添えて下さったクラブの皆さま、ありがとうございました。お陰さまで献金ゼロのクラブは昨年より減りました。これからも区の会計に関心を寄せて頂きますようお願いいたします。

東日本区事務所所長小山さんには全面的にお世話になりました。ありがとうございました。

地域奉仕・YMCA サービス事業主任活動報告

大久保 知宏（宇都宮）



2018-19年度、地域奉仕・YMCA サービス事業主任を務めました大久保です。一年間大変お世話になりました。主任主題を「地域のために、Yのため

に」副題を「あなたが地域のために、Yのために何が出来るかを考えて実行しよう」と定め、活動いたしました。主任としてのメッセージを基本方針とし、

「現在の事業を棚卸ししましょう」

「地域の皆さん、YMCAのスタッフとの顔を合わす回数を増やしましょう」

「活動を記録して幅広く発信しましょう」

この3項目を掲げました。

地域奉仕・YMCA サービス事業は、まさにその活動の主体は各部、各クラブであり、区としての役割は何かと考えた時、その活動のバックアップが区の仕事であろうと考えました。各部、各クラブが行う活動を計画時点で情報入手し、その告知のお手伝いを行いました。情報入手には、各部の事業主査の皆さんのご協力と各クラブの発行するブリテンを活用し、CSYニュースとして東日本区ウェブサイトに掲載すると同時にワイズドットコムで発信いたしました。年間のニュース総数は、50通となりました。事業主任の役割は、クラブ・部の情報を収集し、それを区としてどう取り上げていくかを検討するのが主な業務と考えます。そのためにも、ブリテンの読み込みを継続すべきと考えます。

今年度は、毎年開催していましたがCS写真コンテストへの応募数が少なかったことから、取りやめましたが、次年度では各クラブでのFacebookの運用が始まることから、写真の収集方法を工夫して再開していただければと考えています。また、地域奉仕・YMCA サービスの事業に「環境」があることを意識した事業の展開も検討いただければと考えています。

引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

会員増強事業主任活動報告

伊丹 一之（東京むかで）



1. EMC-E（エクステンション＝クラブ拡張）

①東京町田スマイリングワイズメンズクラブが、東新部に、東京・東京町田コスモス・厚木を

スポンサークラブとして、設立総会は2018年11月18日、チャーターナイトは2019年2月24日、会員数11名で設立された。



②横浜つるみワイズメンズクラブが、湘南・沖繩部に、部をスポンサーとして、設立総会は2019年3月17日、チャーターナイトは2019年6月16日、会員数9名で設立された。



③（仮）千葉ウエストクラブが準備会を開催
④（仮）東京文京アフタヌーンクラブが準備会開催

2. EMC-M（メンバーシップ＝会員増強）

①2018年7月1日860名、2019年1月1日866名、4月30日882名

②会員増強最優秀クラブは、6名獲得の甲府21
③クラブ紹介パンフレットは、9クラブが作成

3. EMC-C（コンサベーション＝維持・啓発）

①出席率100%クラブは、東京たんぽぽと熱海
②退会者ゼロのクラブは29クラブ

4. “Change! 2022”

①2018年11月の第2回東日本区役員会で、「2022年をゴールとする中期会員増強運動」を承認。目標会員数1,246人、5人以上でクラブ設立、SNS広告による情報発信が決定された。

②（仮称）会員増強推進委員会を組織、全クラブ、全会員へのアンケートを実施

③名称は公募により“Change! 2022”に決定

国際・交流事業主任活動報告

小原 史奈子（東京たんぽぽ）



この一年、国際・交流事業を通して東日本区の皆様と活動出来た事はとても楽しい時間でした。

今期の目標で、献金ゼロクラブを減らす事、使用済み切手の収集をコミュニケーションツールとしてワイズ内外の方と整理をしながら活動理解に繋げて頂く事を提案させて頂きました。お陰様で昨年より献金ゼロクラブを3クラブ減らし、多くのクラブにBF使用済み切手整理や各種献金のご協力を頂きました。残念ながら6クラブからご参加頂けませんでしたでしたが、次期には何かしらのご協力を頂けると嬉しいです。切手の収集から始めるのはいかがでしょうか。切手整理の得意なクラブとの協働もあるかと思えます。また、交流事業については、各クラブの周年行事などでIBC・DBC交流をして頂き有難うございます。2018年9月の京都部部会において熱海クラブ、京都パレスクラブ、東京グリーンクラブの3クラブでDBCトライアングルが締結されました。そして、フィリピン・マニラダウンタウンクラブを加えてのクアッドラングル締結に向けて動いて頂きました。BF文化交流代表では東京クラブの比奈地康晴ワイズが2019年4月に3週間アフリカ地域を訪問し、東南アフリカ区大会参加、クラブを訪問され、帰国後はクラブ例会等で報告がありました。TOF、RBM、YES事業では各種献金でお支え頂き感謝です。献金の活用については、「YMIワールド日本語版」冊子又は東日本区のHPを通して現地からの情報を得られます。リーダーシップ育成や、環境問題、世界中の困難と向き合う様々なプログラムに活用されていますのでぜひご覧ください。

また、先に仙台にて行われました第28回アジア太平洋地域大会では、国際・交流のブースにIBC・DBCマッチングボード（お見合いボード）を作成し、新旧東西日本区の国際・交流事業委員が集まり、交流に興味のあるクラブにアピールして頂くことが出来ました。これを機に新たな繋がりが出来ていくことを期待しています。

ユース事業主任活動報告

山本 剛史郎（川越）



主題を「垣根を越えて～Beyond barriers～」とし、様々な垣根を越えてユース支援を行う事業を行いました。

2018年8月6日～12日、韓国・麗水（ヨス）においてインターナショナル・ユース・コンボケーション（IYC）が行われ、東日本区からは永坂仁さん（宇都宮）、宮内蒼也さん（東京八王子）、須郷利貴さん（東京八王子）、平川真友美さん（東京北）、新井美帆さん（埼玉）、泉明寺さくやさん（熱海）の6名が参加しました。

また、須郷利貴さんは2018年4月からSTEPで台湾に滞在しましたが、その後、中国語検定を受けるなど意欲的に関わりを持っています。その報告が国際のユース情報誌「Youth World 75」に掲載されました。

2018年9月7日～9日の3日間、第31回ユースボランティアリーダーズフォーラム（YVLF）が、東京YMCA山中湖センターにおいて行われました。参加者は全国YMCAから派遣されてきたリーダー32名、カウンセラー6名、スタッフ4名に加え、ワイズメンの皆様32名（部分参加も含む）でした。

STEP（ユース海外短期交流プログラム）ではスリランカからパハニ・フェルナンドさんが3月21日～4月23日に来日し、東日本区では3月21日から4月5日まで引き受けました。来日中に足を捻挫するなどトラブルはありましたが、とても良い学びの機会が与えられました。

2019年5月25日（土）にオープン・フォーラム・Yが国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。「参加者一人ひとりが現場の人の声を聞き、社会的課題を自分のこととして認識し、新たな一歩を踏み出す」というテーマのもと、14名が参加しました。

2019年7月19日～7月21日にKIBOTCHA（宮城県東松島市）でエリア・ユース・コンボケーション（AYC）が行われました。東日本区からは荒井浩元さん（宇都宮）、横川蓮奈さん（川越）、藤井うららさん（東京サンライズ）、王譽葵さん（宇都宮）、重堂百恵さん（十勝）、荒川稜子さん（宇都宮）、杉山寿大さん（札幌）の7名が参加しました。

北海道部活動報告

二本松 能敬（北見）



1. 7月10日（火）公式訪問
北見クラブ（夏の夕べ）
北見クラブのメイン行事の
ビールパーティです。クラ
ブのアビールを兼ねて障害

児招待キャンプの資金造成を図ります。今年も
400人以上が参加しました。

2. 7月14日 チミケップワーク

ワイズメンによる今年のワークは砂を地面の低
いところへ敷きならす作業。十勝クラブの中村
メンが小型ショベルを使って大活躍、作業はぐ
んと進みました。

3. 8月25日（土）

第1回北海道部会 ホスト北見クラブ

第1回評議会・部会が32名の参加者で開催さ
れました。部会では、北海道の名付け親の「松
浦武四郎」話しを聞きました。懇親会では地元
で活躍しているバンドの演奏を聞きました。

4. 9月17日（月） 部長公式訪問 十勝クラブ

十勝クラブの9月例会に参加。地元で福祉サ
ービス事業所「笑心」の講演を聞き、楽しい有
意義な一時を持ちました。

5. 1月14日（月）

合同新年例会（部長公式訪問）

元々札幌クラブと札幌北クラブの新年合同例会
でしたが、「北海道の4クラブが顔を合わせる
場を」という提案から、北海道部合同例会とな
りました。北翔大学の佐藤至英教授から卓話
をお聞きし、食事はバイキングで飲んで楽しい一
時を過ごしました。

6. 4月27日（土）

第2回北海道部会 ホスト札幌クラブ

第2回評議会、研修会が開催されました。研修
会では次期東日本区理事の山田メンの理事方針、
経歴を聞きました。懇親会では次期部長宮崎メ
ンの強い要望で2回の献金がなされました。

7. 5月13日 十勝クラブ 山菜例会

毎年5月に開催している山菜をメインに食事を
する例会。ワイズのみならず関係者する人々が
多勢集まる盛大な例会。今年も餅つきやキャン
プファイヤーなど多彩なプログラムで山菜を楽
しみました。

北東部活動報告

涌澤 博（仙台青葉城）



昨年度北東部部長を仰せつか
り、北東部内の各クラブを公式訪
問する事ができました。そこで感
じたのは、各クラブとも有意義な
ワイズ活動を行っており、YMCA

支援、リーダー支援、地域奉仕などそれぞれ特色
のある活動を見る事ができ、共に活動へ参加でき
たことに部長としての喜びを実感しました。また
公式訪問以外では、入会式やクラブの記念行事な
どもに参加させていただき、部長として有意義な
ひと時を過ごすことができました。北東部では人
数の少ないクラブもありますが、会員同士お互い
に協力し合い、ワイズメンとしての義務をすべて
のクラブが果たしている事を、確認することがで
きました。

部長として各クラブの情報収集は、メールにて
連絡した後、各クラブ会長には電話にて再度連絡
をする事を心がけていました。メールによる送り
放しの連絡ではなく、各会長と会話ができる事
によりクラブの実状や課題なども気軽に話し合
える事ができました。距離の離れている北東部
ですので、メール、SNSでの連絡も大事ですが、
コミュニケーション（会話）での繋がりは大切
にしていきたいです。

北東部大会では、仙台クラブの70周年祝
会と合わせて開催する事ができ、準備も含め
仙台クラブのメンバーには大変お世話になり
ました。部大会の内容も基調講演、祝会も含め
楽しく開催でき、翌年に控えたアジア太平洋
地域大会の件もあり、実行委員会のみなさま
をはじめ、部大会では各方面から多くのご
参加をいただいた事に感謝申し上げます。

今期はアジア太平洋地域大会の準備もあり、
皆様より「忙しいのでは」との問いかけが多
くありましたが、部長職の方がいろいろと
あり、HCCのお手伝いは東日本区大会終了
後から行いました。要領よく活動していれば、
もう少しHCCのお役に立てられたのかと考
えると申し訳なく思います。

みなさまのおかげで、北東部部長生活はと
ても有意義な1年間を過ごすことができました。
アジア太平洋地域大会でも多くの方々が仙
台に来ていただいた事に感謝申し上げます。

関東東部活動報告

衣笠 輝夫（埼玉）



1. 関東東部部大会を開催。
日時：2018年9月29日
（土）
場所：日本バプテスト
浦和キリスト教会

参加人数：ワイズメン：58名、都市Y+学Y+教会
ユース：29名、YMCAスタッフ+教会関係者：5
名、参加者総計92名。

「青少年のためにYMCAにつくそう」のワイズ
信条を再認識し、主題「良いものを見つけ・つな
げて、よくなろう」の一環として、YMCAに連なる
都市YMCA・学Yのユース、そして地域協働の
パートナーとしての教会に集うユースとワイズを
繋げる場とした。



2. ワイズメンズクラブ入会式立合
東京グリーンクラブ1名の入会式
2019年2月20日（水）
東京YMCA東陽町センター
3. 新クラブ立ち上げ準備会へ立合
（仮称）千葉ウエストクラブ
2019年2月23日（土）
船橋市勤労市民センター
4. 川越クラブ20周年記念会へ祝辞
2019年4月27日（土）
川越東武ホテル
5. 公式部長訪問（10クラブ）
東京北（7/18）、埼玉（7/23）、茨城（8/17）、
川越（8/25）、東京江東（8/18）、東京グリーン
ン（8/22）、東京ひがし（9/13）、千葉（10/13）、
東京ベイサイド（10/24）、所沢（11/03）
6. 東日本区大会 関東東部部長報告で各クラブ
の活動を6分の動画記録にまとめ報告とした。

東新部活動報告

神保 伊和雄（東京むかで）



【クラブの原点を】でスタート
を切りました。
瞬く間に1年が過ぎてしま
いました。
ワイズメンズクラブの基本で

すよね!

☆アトラクティブなクラブ

- ★例会の定期開催。
- ★ブリテンの定期発行。
- ★仲間の確保、二桁⇒15名

6クラブ90名で出発、7クラブ93名でタッチ。
東新部各クラブの皆さん、会長のみなさん、
そして、部のキャビネットの皆さん、感謝！
ご苦労様でした。ありがとうございました。
足並みを揃えて次期も歩みを進めましょう！
ワイズの課題は盛り沢山。

与えられた時間、そして与えられたチャンス、
楽しむことが与えられていることですよ!

YMCAとの協働

地域への奉仕 各クラブの活動
国際・交流事業 BF代表（東京）
EMCシンポジウム

ユース

部大会

魅力あふれる、各クラブの活動・プログラム
楽しみの中に喜びを見出しましょう！
結果は自ずとついてくるでしょう

【ワイズの楽しみは、今、そしてこれから】

—JOIN US—

東京町田スマイリングクラブの誕生は
東新部のこれからです！

あずさ部活動報告

廣瀬 健（甲府21）



ワイズメンズインターナシ
ヨナルよりエルマー・クロウ
賞をいただきました。これも
皆さまのお力添えいただいた
結果だと思います。感謝申し
上げます。

現会員数 2019年1月1日
現在175名（入会者4名 退会4名 休会2名）
今年度は入れ替わりが激しい年度になりました。

2018 年度減 2 名

あずさ部部長活動報告全期（部長公式訪問・評議会・部大会）

7月3日(火) 甲府 21 新旧役員交代式・入会式立会
 7月7日(土) 東日本区役員会 YMCA 同盟
 7月10日(火) 甲府新旧役員交代式・入会式立会
 7月14日(土) あずさ部第一回代々木の杜評議会
 7月28日(土) 東京武蔵野多摩・松本合同例会原村
 9月8日～9日(土) ユースボランティアフォーラム山中湖・全国学生 Y 夏季ゼミ東山荘
 9月13日(木) 東京サンライズ訪問
 9月18日(火) 東京山手・たんぽぽ合同例会訪問
 10月13日(土) 東京八王子中大ナイト訪問
 10月17日～18日(水) 長野訪問
 10月20日(土) あずさ部部大会 IN 甲府
 11月10日(土) 東日本区役員会 YMCA 同盟
 12月15日(土) 松本アジア賞 30 周年出席
 1月11日(金) 富士五湖訪問
 1月17日(木) 東京西訪問
 2月9日(土) 第 2 回あずさ部評議会高尾（荒天の為中止）
 2月16日(土) 4 部合同 EMC シンポジウム参加会員増強発表
 3月9.10日(土) 東日本区次期研修会オリセン
 3月23日(土) 東京サンライズ 30 周年祝会
 5月11日(土) 第 3 回あずさ部評議会長野
 4月6.7日(土) 東日本区役員会東山荘
 4月16日(火) あずさ部 3 部合同メネット会甲府
 5月31日(金) 東日本区役員会オリセン
 6月1.2日(土) 東日本区大会代々木オリセン

主題：未来はそれに備える人のものである
 ワイズ存続危機はもう直ぐそこまできています。
 会員あってのワイズメンズです。

EMC に全力を注ぎ各クラブ訪問時にお願いしてありますが現状は大変厳しいようです。あずさ部は 11 クラブ 1 人ずつ入会して頂ければ 11 人増えます。どうすれば、どのようにして、あずさ部以外の部からも卓話要請、成功例など出来る限り発表してきました。部長という立場で出来る限りのアイデア出しましたがやはり各クラブの活動、主張内容を最大限にアピールすることが大事。我がクラブ甲府 21 は 6 名新規会員が増え益々の活気に溢れています。この結果は一人一人のワイズ活動の賜物です。

東日本区最大課題の EMC！皆さん頑張りましょう！！

第 22 回東日本区大会では（代々木オリセン）国際・交流事業 TOF 全クラブ達成賞、RBM 達成賞、RBM 特別賞、会員増強特別賞（甲府 21）入会 6 名あずさ部が表彰されました。全クラブ全会員に感謝いたします。また書記、会計、主査、全クラブ会長の協力には合わせて感謝申し上げます。有難うございました。

湘南・沖縄部活動報告

佐藤 節子（厚木）



<はじめに>

宮内理事はじめ多くの方の出会いにより私の人生は開花した思いです。一年間ありがとうございました。

第 28 回アジア太平洋地域大会（仙台）におきまして、湘南・沖縄部代表として「エルマー・クロウ賞」を受賞いたしました。これは横浜つるみクラブ設立を部あげて、ただひたすら一丸となって取り組んで頂いた成果であります。皆さまの熱き情熱の賜物でございます。心よりお礼申し上げます。

<報告>

1. クラブ部長公式訪問 8 クラブ完了
 横浜とつかクラブ（7 月 7 日）を皮切りに 2019 年 2 月 16 日～17 日に沖縄那覇クラブ・沖縄クラブの合同例会をもって 8 クラブすべて訪問。地域の特殊性、実情等を訪問により、理解が深まりました。
2. 部大会 9 月 15 日
 会場 レンブラントホテル厚木
 第 1 部 開会式典
 第 2 部 理学博士佐治晴夫氏を迎えての講演 テーマ～宇宙研究最前線から人間存在の意味を考える～「宇宙に学ぶ人生の歩き方」の講演
 第 3 部 懇親会
 料理に舌鼓を打ちながら懇親を深め合いました。
3. 第一回フレッシュセミナー 11 月 11 日
 会場 横浜 YMCA
 テーマ「ワイズを知るには 今でしょ」
 講師：湘南・沖縄部加藤利榮氏、鈴木茂氏、辻剛氏
 内容：「ワイズってなに」「ワイズの歴史」「東日本区文献 規約・部規約」「健康づくりゲーム」など。
4. YMCA と合同新年会 2019 年 1 月 12 日
 会場 横浜中華街廣東飯店
5. 新クラブ「横浜つるみクラブ」誕生！
 会場 鶴見中央地域ケアプラザ
 特色：部のスポンサーは世界初です。辻剛部エクステンション委員長、久保勝昭実行委員長を筆頭に皆様によるご尽力の賜物で、9 年ぶりに新クラブ誕生。全 8 クラブ総力の結集です。
 特筆：国際議会より、スポンサー「部」として「あなたの赤ちゃん」をしっかり守り育ててのメッセージと「コウノトリ」バッチが贈られました。世界に広がるワイズメンズ運動に仲間入りしました。
 設立総会 2019 年 3 月 17 日。チャーターナイト認証式 2019 年 6 月 16 日 会員 9 名



6. YMCA と協働

- ・ AIDS フォーラム 8月3日～5日
会場 かながわ県民センター
テーマ「リアルとつながる」
- ・ チャリティラン 10月20日
会場 横浜みらい21 地区開港パーク
- ・ 横浜 YMCA 会員大会 2019年2月11日
会場 とつか YMCA
テーマ「平和のつくり方」
- ・ 横浜専門学校日本語スピーチコンテスト支援
- ・ 東日本大震災など災害に支援
- ・ 横浜 YMCA 会員総会 2019年5月25日
会場 とつか YMCA

7. その他

- ・ 部長通信 No.1～No.3 発行
- ・ 部報 第1号発行 (2018年11月)
第2号発行 (2019年6月末日)
- ・ 評議会4回、Y-Ys 協議会等々、計画通り実施。
- ・ エクステンション委員会委員長を役員に承認される。(委員会委員の任期3年)

富士山部活動報告『一年間ありがとうございました』

渡邊 実帆



宮内理事を初めとする区の役員の皆様、本当に一年間お疲れ様でした。部長として頼りなく、慣れない私をお支え下さり、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

「生き活き！ワクワク！仲間と共に」・・・と目標を掲げて活動したつもりではありますが、果たして結果はどうだったのだろうか。部とクラブをつなぐことが出来たのか・・・自分の思いだけが空回りした部分もあり、私のこの一年は初めから終わりまでとても苦しい一年でした。

ですが、各クラブの活動は素晴らしいものがありました。メンバーひとりひとりの目には見えない活動や縁の下の力持ち的なものなど、素晴らしい活動に支えられての「富士山部」でした。富士山部各クラブの会長はじめメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

ボランティアの精神は『愛』ではないかと思えます。愛という字は「受ける」という字の中に「心」があります。相手の心を受ける、心を包んでいるのが「愛」です。自分はクリスチャンじゃないからとか、うちは仏教だからとか言われてワイズメンズクラブ＝YMCA が敬遠されることもしばしばありますが、宗教は関係なく『寛容』『慈悲深い』・・・そして『愛』

私自身も今後も愛をもってボランティアの活動

を行っていきたいと思います。単なる仲良しクラブではなく『目的を持って』『楽しみながら』『愛をもって』・・・。

素敵に生きていきたいですね。

一年間ありがとうございました。

監事活動報告

2017-2019年度 東日本区監事 鈴木 茂



2018-2019年度の行政監査報告は、すでに2019年6月1日開催の年次代議員会に提出、承認済みであり、また同年度決算会計監査報告も、

2019年7月6日開催の2019-2020年度第1回区役員会に提出、承認済であります。この1年間監査業務にご協力下さった理事・区役員ならびに関係の皆さまに心から感謝申し上げます。

東日本区監事の任務は申すまでもなく、理事および区役員が的確にその業務を執行し、内部統制の機能が発揮されたかどうかを確認するとともに、会計処理が公正、正確に行われているかを監査する点にあります。このため区役員会、常任役員会等多くの会議に陪席させていただきました。宮内友弥理事および区役員の皆さまが区の運営業務に真摯に取り組み、各部、各委員会を陣頭指揮し、全体として順調な組織運営が行なわれたことを評価したいと思います。

東日本区の組織運営に関しては、会員の高齢化に会員増強運動の厳しさも加わり、将来勢力の先細り感が払拭できないこと、国際献金への協力姿勢や区・部の活動への参加協力姿勢がクラブ、会員によって温度差が大きいことなど、改善対策が望まれる分野はなお残されています。区・部の役員を中心にこうしたワイズの活性化対策に引き続き取り組んでいただきたいと思います。

監事活動報告

2018-2020年度 東日本区監事 漆畑 義彦



2018-2019 宮内理事は基本方針

- 1) メンバーが自ら動く組織、信頼関係の構築重視
- 2) YMCA は心の拠り所 自分

は何を基盤としているか。

3) 理想と改革を見据えた斬新なアイデアの変革と実践

4) 課題 組織はこれでよいか。

外部広報の拡大。

クラブ新設

YMCA との関係

宮内理事は方針を明確にして期をスタートした。文献・組織検討委員会と定款改訂委員会で両翼を固め、区の基盤を重視して足元を守った。事業主任・部長の行動を見守り、斬新なアイデアの変革と実践につなげた。次期への種まきは宗教色を希釈しつつ外に向けて情報の発信すること。Y'sの斬新な変革であり、これからの組織のあり方を大きく変えることへの挑戦といえます。後年この功績が大きく話題になることと思います。勿論今期理事スタッフの働きは目を見張るものがあります、若い力が目立ちこれからのY'sを象徴しています。

過去に東日本区会計ソフトを試作した。試験使用は今年で5-6年になると思います。小山事務所長の運用功績がこのソフトの質をよりよいものにしています。会計方法を見直して、当該東日本区役員がその中身を理解した上で、当該年度の代議員会で決算を承認出来れば理想ではないでしょうか？必要ならば意見をいただきながら、監査の任期中にソフトの改良を完成したいと望んでいます。

文献・組織検討委員会活動報告

文献・組織検討委員会委員長 利根川 恵子



2018-2019年度文献・組織検討委員会は、下記のア～キの、昨年度からの継続審議事項および新たに理事から諮問のあった事項を検討し、理事に提案・答

申することを主な活動とした。(継続はアとカ)

ア. 会員増強に関する提言 (EMC小委員会)

イ. 役員等の任期

ウ. 事業分類と4事業主任の担当分野見直しおよび4事業委員会規則の作成

エ. 定款改訂に伴う委員会規則(4事業委員会は除く)等の整合性のチェック

オ. ハンドブックのワイズ用語、略語集および

入会式式文の見直し

カ. 東日本区大会マニュアルの作成

キ. 法人化について

上記の審議事項に対し、この1年で5回の委員会を開催し、審議事項への対応は以下のようになった。

ア. 2022年をゴールとする中期会員増強計画を軸とした「会員増強に関する提言」を2018年11月1日付けで理事に答申をした。その結果、EMC事業委員会と協力し、(仮)会員増強推進委員会が設置され、最終的に「Change!2022」という会員増強運動に発展した。

イ. 役員等の任期については、単年度では無く複数年度を務める可能性を議論したが、難しいと言う結論に達した。

ウ. 2019年3月18日に「事業分類と4事業主任の担当分野見直しおよび4事業委員会規則の作成について」理事に答申を行った。それに基づき、理事から第3回役員会に東日本区定款行細則の改定案が議題として提出され、事業の見直し、4事業主任の担当分野の見直しについて承認された。なお、4事業委員会規則の作成については、来年度に検討する。

エ. 定款改訂に伴う委員会規則(4事業委員会は除く)等の整合性のチェックを行い、改定が必要な規則は無いと判断した。

オ. ハンドブックのワイズ用語、略語集および入会式式文を見直し、2019年4月20日に次期理事に答申した。

カ. 東日本区大会マニュアルの作成、キ. 法人化について、の両事項については、来年度も引き続き継続審議とした。

キ. 新たに個人情報保護の検討が必要と判し、来年度の審議事項として追加する。

LT委員会活動報告

LT委員会委員長 北村 文雄



『LT委員』

北村文雄(委員長・厚木)、浅羽俊一郎(東京山手)、大川貴久(熱海)、大澤和子(所沢) 佐竹誠(東京ベイサイト)、千葉裕子(鎌倉)、長津徹(東京サンライズ)、山口直樹(東京武蔵野)

多摩)、山本剛史郎(川越)

『活動目標』

ワイズマン一人一人がワイズの目標「理想と興味を持ち、自らが提案者となり、労をいとわず、前向きになること」を、互いに啓発しあう場所を提供していきたい。

会員の意識向上、リーダーシップ開発を通し組織の再構築を図りたい。

『LT 委員会の開催・各種研修会の開催』

第1回 2018年7月6日(金) 於四谷 宮内理事・板村書記陪席

第2回 8月24日(金) 於四谷 宮内理事・板村書記陪席

第3回 9月29日(金) 於四谷 宮内理事・板村書記陪席

次期部長・次期事業主任研修会 10月27日(土) 於四谷 日本YMCA 同盟会議室

第4回 11月30日(金) 於四谷 宮内理事・板村書記陪席

第5回 2019年1月25日(金) 於四谷 宮内理事・板村書記陪席

第6回 2月22日(金) 於四谷 宮内理事・山田次期理事・板村書記陪席

次期会長・部役員研修会 3月9~10日 於国立オリンピック記念青少年総合センター

第7回 4月5日(金) 於四谷 宮内理事・板村書記陪席

フレッシュワイズの集い 6月1日(土) 於国立オリンピック記念青少年総合センター

『次期部長・事業主任研修会』 参加者31名 山田次期理事の意向に沿いフリーディスカッションの時間を多く設け、より活発な活動、主体的な事業展開を図るにはということで討議した。

ユース理解の為に、AYC参加者の報告を昼食時間を利用し、聞いていただいた。

EMCを強く認識していただき、EMC推進にITツール積極的導入について理解を求めた。

『次期会長・部役員研修会』 参加者102名・森田恵三西日本区将来構想特別委員会委員長に基調講演をお願いした。「ワイズへの思い—これまでとこれから 国際ワイズ創立100周年に向かって」

・パネルディスカッション「会員増強—新しいワイズ像」

どちらも、高齢化と会員減少という現状にたいす

る方策として、東日本区がスタートする EMC 中長期計画 Change! 2022 をより理解してもらうべく企画した。ワイズが抱える問題を直視し、皆で考える研修を目指した。

東日本区大会1日目の午前中にワイズ歴の浅い方達を対象にした「フレッシュワイズの集い」を開催した。当初、フレッシュワイズセミナーということで新人研修目的の企画でしたが、LT 委員会で検討した結果、ワイズの現状をフレッシュワイズの方達から見て感じたことを話し合う機会にした。参加者には大変好評で、LT 委員会開催の次期会長研修会等の研修者のモチベーションを高めることが主たる目的である開催方法の大きな手懸りになった。

東日本区ワイズ基金 (JEF) 報告

東日本区ワイズ基金運営委員会委員長 高田 一彦



今期は2回の委員会を開催し、以下の課題についての話し合いが行われた。

① 会員増強プロジェクト

(Change!2022) への SNS 費用としての280万円拠出

当初 SNS に対する支援費用として、5年分の500万円支援の依頼があったが、SNS 活用の効果等が不透明であるとの意見が出され、2年分として280万円を支援し、効果を見守っていく事で了承した。

② ワイズ基金規則と定款の整合性について検討 当該委員会と規則、委員会の役割等の再確認を行った

③ ワイズ基金への献金促進

東日本区ワイズ基金の本来の主旨の認知度を上げる「東日本区ワイズ基金の促進チラシ」の更新と・配布によるアピール

次期会長・部役員研修会(3/9)でのアピール(席上献金:6万円)

役員会等にて、JEF 強調月間に例会に於ける JEF 献金の促進依頼

今年度ワイズ基金の状況(2019/06/30 現在)

今年度献金 ¥609,150

27件(16名(20件)、6クラブ、次期会長研修会)

献金詳細は、別頁参照

献金趣旨:孫の誕生記念、子・孫の結婚、任務を終えて、受賞感謝、召天記念、クラブ周年記念、

ワイズダムの発展を願って、JEF 月間に当って

期首 ￥15,561,613

期末 ￥16,170,763 *

*尚、今期で拠出が確定している科目は以下の通り。

- ・エリア大会への支援金〈250万〉は、大会終了後の赤字補填として。
- ・会員増強プロジェクト支援〈280万〉は、次期に当該口座へ振り込む。

従って、実質的に次期基金は¥10,870,763になる。

東日本大震災対策本部活動報告

東日本大震災対策本部長 宮内 友弥



東日本大震災支援募金の現状
(2019年6月30日現在)

単位：円

前年度繰越金	¥613,766
今年度献金※1	¥450,334
今年度支援金※2	¥291,978
次年度繰越金	¥772,122

※1 利息を含む、※2 送金手数料を含む
各クラブで行われた支援活動

1. 長野クラブ

実施活動名 石巻市荻浜地区桜植樹会に桜贈呈の件
実施日 18年10月14日～10月15日

2. 東京たんぽぽクラブ

実施活動名 歌の広場「童謡・唱歌を歌う会」
実施日 ①18年10月25日
②19年4月26日

3. 横浜つづきクラブ

実施活動名 「みやま荘」「つばめの杜保育所」慰問
実施日 18年11月15日

皆様のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

定款改訂委員会活動最終報告

東日本区定款改訂委員会委員長 辻 剛



2014年2月に「定款改訂の提案」を理事（当時）に答申して以来、「区定款見直しワーキングチーム」が発足、第11回会合にて最終的な「改訂粗案」を完成させました。その

後、「ワーキングチーム」は発展的に解消し、当

委員会、すなわち、「東日本区定款改訂委員会」が拡大委員会として設置され、区全体を巻きこんでの検討を重ねました。そして、2017年3月に「前文」を含む定款改訂最終案を作成いたしました。

その後、国際会長から改訂東日本区定款を承認する旨の連絡がありました（2018年月19日）。東日本区では、この改訂案は2017年6月開催の年次代議員会、2017年8月開催の臨時代議員会で既に承認されておりましたので、これをもって定款に定められた改正手続きは全て終了し、2018年7月1日制定・発効しました。この時点で当委員会の本来の使命は実質的に終了しました。

「前文」につきましては、国際協会から「ワイズの本質、即ち、国際協会、区、部、クラブおよび会員それぞれの役割、目的が見事に要約されていて、よりよい世界のために行う私たちの愛と奉仕について完ぺきに定義しています。」と高い評価をいただきました。応募して立派な前文を作成してくださったワイズメンの方々に改めて感謝申し上げます。今後は、東日本区の様々な活動の場面で多くの皆様がこの前文を引用・活用していただければそれに勝る喜びはありません。

なお、事務的手続きとして、国際協会より今回の承認にあたって、定款改訂後変更された「クラブ設立のための最少人数」等々の修正を早急に行うようにと推奨されましたので、年次代議員会（2018年6月2日）および臨時代議員会（郵便投票：同年8月）に修正議案を提案し、可決されました。従いまして、この時点で当委員会の全ての作業は名実ともに終了いたしました。上記の通りでありますので、当委員会は年度末（2019年6月30日）をもって解散いたしました。

以上述べましたように大変長い時間をかけての改訂作業・手続きを無事終了させることができたのもひとえに歴代の理事、代議員会、役員会、ワーキングチームおよび定款改訂委員会の皆様および委員をとおして協力してくださった部や各クラブの皆様の多大なご尽力があったからこそと改めて厚く感謝申し上げます。今後はこの改訂定款のもと東日本区およびワイズダム運動がさらに発展し、ますますよりよい世界の実現のために貢献できることを祈念いたします。

ヒストリアン活動報告

ヒストリアン 仙洞田 安宏（甲府）



今年度の保存資料としては、新クラブのチャーター関係では、東京町田スマイリングクラブと横浜つるみクラブがあります。新クラブの設立要件である会員数が5人以上

に下がったこともあり、嬉しいことに2つのクラブが誕生しました。

また、クラブの周年行事関連では、宇都宮（40周年）、松本・東京サンライズ（30周年）、川越（20周年）の記念例会プログラムなどを保存しました。

ところで、ワイズの歴史的資料類は、日本YMCA 同盟会館の地下室の一郭に保存されています。当然のことながら、時代を重ねるに従い、保存資料も増えて行きます。キャパシティにも限度がありますので、今後の保存整理と、それらの活用について、検討が必要な時期に来ていると思います。

ITアドバイザー活動報告

ITアドバイザー 大久保 知宏（宇都宮）



2018-19年度、ITアドバイザーを務めました大久保です。一年間大変お世話になりました。ITアドバイザーの主な業務は、東日本区ウェブサイトのメンテナンスと、メーリングリスト

のメンテナンスとなります。前者は、理事通信、クラブブリテンの格納業務が毎月、断続的に発生し、その都度対応しています。年間に理事通信で12通、クラブブリテンは41クラブ400件を超える処理を行いました。また、トップページの構成をその時の要請で随時変更するようにしました。

後者は、ワイズコムを田中アジア太平洋地域会長、東日本区を札幌2019-20会員増強事業主任のご協力をいただきながら行いました。使用頻度の差は大きく、運用について再検討が必要と思います。

2019-20年度にはクラブのFacebookの運用が始まります。安全な運用の面でサポートしたいと考えています。

トラベルコーディネーター活動報告

トラベルコーディネーター 長澤 山泰（東京）



トラベルコーディネーター（以下TC）の主な務めはBF代表の受入及び立案ですが、最近では隔年での受入となっていますので2018~19年度の受入はありませんでした。基本的には

東西日本区での受入ですが日程が合えば台湾区の訪問も加えて3区の区大会を廻るよう日程を調整します。BF代表の受入はありませんでしたが、昨年10月にインド・ハイデラバードクラブからクマールワイズ一行5名が、IBC締結先の彦根クラブと沼津クラブ、また親しく交流のある川越クラブの3クラブとの友好を図ること及び他の日本のワイズメンとの親交を図りたいとこのことで来日されましたので、東京での歓迎会を企画し、クマールワイズと知り合いの方、インドや海外のワイズに興味のある方、ユースでインドに行かれた方々に呼び掛け水道橋で賑やかに歓迎会を催しました。

また、4月には比奈地康晴ワイズ（東京クラブ）がBF代表として約1ヶ月間に亘り、アフリカ4ヶ国を訪問しましたので、渡航手配&アドバイスをしました。2019-2020年度は、帯広で開催されます東日本区大会に合わせて南米ペルーよりBF代表が来日予定となります。東新部、北海道部、北東部にはホストクラブを選択いただくようになるかと思えます。詳細な受入日程が決まりましたらお知らせをしますので、ご協力をお願いいたします。

広報・伝達（PR）専任委員として

広報・伝達専任委員 渡辺 大輔（東京武蔵野多摩）



1年間、主に区報の編集、理事通信の編集、配信、Facebookでの配信などをさせていただきました。特にSNSを積極的に利用しようと宮内理事の方針で、昨年度はFacebookへの投稿を増やすよう努力いたしました。

東日本区のページ

(<https://www.facebook.com/ysmenjapaneast/>)

には各クラブのブリテンやニュースなどを掲載いたしました。

しかし、東日本区のページのフォロワーも約110名（国内外含む）と東日本区全体から見るとまだまだ知名度も低く、見てもらう機会を増やすアクションが必要かと感じております。また、内部向けの投稿が多かったのが、反省点です。イベントなど外部向けの投稿も増やせるように、広報・伝達委員個人では限界がありますので、各部、各クラブ、各個人の発信の回数や内容を充実していくことも必要ではないでしょうか。

YMCA・ワイズ パートナーシップ検討委員会の働きについて（報告と提案）

リエゾン Y Liaison 山田公平



これまでの経緯

ワイズメンズクラブ東西日本区20周年記念東西交流会 in YMCA 東山荘の時(2017年2月)に提案し、ワイズ東西日本区とYMCAにおけるパートナーシップ検討委員会結成を要請。後日、日本YMCA同盟および総主事会議にも提案し、5年間任期（2017年から2022年の100周年まで）でのパートナーシップ検討委員会結成が決定された。以後4回の委員会が開催されてきた。メンバーは。YMCA側から三枝（奈良Y総主事）、光永・有田担当・連絡主事、リエゾン：山田、堤。ワイズ東日本区から利根川、栗本、片山、ワイズ西日本区：遠藤、岩本、大野の各氏で始まった。

【以下は各会での協議事項抜粋】

第1回 2017年8月 大阪 列席1名

全員で、今後パートナーシップを強化して何ができるかを検討し、1年以内にすべきこと、5年以内にすべきことをまとめた。

★1年以内に取り組み課題：

災害時の対応素案をまとめる、主事ハンドブック改定、Yがあつてワイズのない地域調査、先行事例として4つのYMCAでパートナーシップ会議実施→全国総主事会議と連携

★5年以内の課題：

ワイズの人財バンク、ユース育成システムの構築（リーダーOBOG）、総主事会議で協議の時間を確保し、互いのコミュニケーションを全国レベルで推進

第2回 2018年4月 東京 列席1名

★事例紹介：熊本、神戸、奈良、とちぎでの協働の取り組みを紹介、これを全国のYMCA/ワイズに広げたい。

★ワイズ国際大会（18年8月@韓国）に世界から20人のリエゾン候補を集め、懇談を進める⇒日本からも2名（小畑氏東京Yと神保氏熊本Yを派遣）

★主事ハンドブックの改訂（東西で統一できないか）

★ワイズのない地域（愛媛、富山、福島）

★リーダーOBOGへのアプローチを（阪和部で進行中）

第3回 2018年10月 東京 列席3名

★主事アンケート（東西全114名中59名が回答）報告と活かし方：分析必要

★東西日本区大会で主事会を開催：ここに統括主事も招いて各Yレベルでのパートナーシップを強化したい、リエゾン（統括主事）の役割を明確に

★TOF や World Challenge で協働を、熊本では統括主事がYとワイズの会議を実施中

★災害時の対応を Area Safety Net の仕組みで全国YMCAで考えていく。

★リーダーOBOGへのアプローチを（阪和部で実験）ユース理解する必要

第4回 2019年4月 大阪 列席3名

★YMCAで主事統括者選出、東西日本区大会でリエゾン会議を開催したい

★主事アンケートのフォローアップ（YMCAから見たワイズに対しての所感）

★ブランディングとワイズとの協働

★災害時の対応 Area Safety Netの中でどう考え、どう動いていくかなど。

★TOF、ASF や World Challenge に日本のワイズの協働への可能性を検討

提案された事

1. YMCAで主事統括者選出、東西日本区大会でリエゾン参加で主事会開催
2. 主事アンケートをまとめてワイズにも理解をしてもらう
3. 全国YMCAのブランディングにワイズとの協働の可能性を探る
4. 災害時の対応 Area Safety Netの中での検討を進める中で情報共有を行う。
5. TOF、ASF、World Challenge にワイズとして

の参加可能性を検討

すでに、ピンクシャツデーの協働の実績は協働ロゴTシャツ作成など実施。

今後のパートナーシップ検討委員会の在り方を検討すべき

1. より効果的にするために何が必要か
2. 組織の在り方、人選で考慮すべきこと
3. YMCA のブランディングとワイズとの協働が重なる
4. 災害時の対応 Area Safety Net の中でどう徹底させるか
5. TOF、ASF、World Challenge に日本のワイズとしてできることを検討

初代副書記を終えて

副書記 山口直樹（東京武蔵野多摩）



終わってみると、なにをやっていたかあまり覚えていないくらい、ずっとバタバタと目の前のことに追われて、(助走期間も含め1年半) 過ごした様な気がします。最大の感想は、いろいろな方との出会いができ、また、ワイズの奥の深さを肌で直接感じることができたことです。本当に感謝です。一人一人、それぞれの思いを持たれ、また、違いを認めながらともにワイズメンとして活動をしてゆく強い思いを感じました。ワイズは皆さん善意の集まりであると改めて実感した1年間でした。

初めての副書記という肩書は本当にやりづらいものでした。やはり、今までのように事務局という存在で理事及びチームを脇から支える役割をさせていただけなかったと思います。このことで混乱させてしまった方々へお詫び申し上げます。

YMCA 報告

担当主事 光永 尚生



宮内理事期には、全国YMCAの活動に際して、多大なるご支援とご協力を各所で賜り、まずはYMCAの担当主事とし感謝とお礼を申し上げます。

加えて、YMCAとワイズパートナーシップ検討委員会」では、具体的なアクションと、準備が進

みました。今回は、そのトピックスを以下にまとめました。

「YMCAとワイズメンズクラブパートナーシップ検討委員会のふりかえり」

ワイズメンズクラブ東西日本区20周年記念東西交流会 in YMCA 東山荘の時(2017年2月)に山田公平国際リエゾンからの提案があり、その後ワイズ東西日本区とYMCAにおけるパートナーシップ検討委員会設置の検討がされました。そして、2017年から2022年のワイズ100周年まで5年間任期でのパートナーシップ検討委員会結成が決定されました。以後4回の委員会が開催されましたが、メンバーはYMCA総主事会議から三枝隆氏(奈良Y総主事)、光永・有田担当・連絡主事、リエゾンの山田氏、堤氏。ワイズ東日本区から利根川ワイズ氏、栗本ワイズ、片山ワイズ、ワイズ西日本区:遠藤ワイズ、岩本ワイズ、大野ワイズの各氏で始まりました。

第1回 2017年8月 大阪 列席1名

第2回 2018年4月 東京 列席1名

第3回 2018年10月 東京 列席3名

第4回 2019年4月 大阪 列席3名

提案された事

1. YMCAで主事統括者選出、東西日本区大会でリエゾン参加主事会開催
2. 主事アンケートをまとめてワイズにも理解をしてもらう
3. 全国YMCAのブランディングにワイズとの協働の可能性を探る
4. 災害時の対応 Area Safety Net の中で検討を進める中で情報共有を行う。
5. TOF、ASF、World Challenge にワイズとしての参加可能性を検討

すでに、ピンクシャツデーの協働の実績は協働ロゴTシャツ作成など実施。

今後のパートナーシップ検討委員会の在り方を検討すべき

1. より効果的にするために何が必要か
2. 組織の在り方、人選で考慮すべきこと
3. YMCA のブランディングとワイズとの協働が重なる
4. 災害時の対応 Area Safety Net の中でどう徹底させるか
5. TOF、ASF、World Challenge に日本のワイズとしてできることを検討

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区 2019-2020年度前期 現勢

2019.7.1

部 名 クラブ名	2017	2018	2018	2019	2019.7.1			直近 増減
	7・1	1・1	7・1	1・1	入会	退会	差引	
北海道部								
札幌	10	10	8	8	0	0	8	0
北見	13	13	13	13	0	1	12	△1
十勝	19	19	18	18	0	1	17	△1
札幌北	9	9	9	9	0	0	9	0
クラブ数: 4	51	51	48	48	0	2	46	△2
北東部								
仙台	18	17	16	16	0	1	15	△1
前橋	6	6	7	7	0	0	7	0
宇都宮	31	29	29	32	1	0	33	1
仙台青葉城	12	12	12	14	3	2	15	1
*足利	1	1	1	1	0	0	1	0
*会津	5	5	5	5	0	0	5	0
宇都宮東	8	8	8	8	0	0	8	0
那須	6	6	6	6	0	0	6	0
もりおか	12	14	14	14	0	1	13	△1
仙台広瀬川	18	17	17	17	0	1	16	△1
石巻広域	21	23	23	23	0	4	19	△4
クラブ数: 11	138	138	138	143	4	9	138	△5
関東東部								
東京江東	23	22	21	21	0	0	21	0
千葉	12	13	14	14	1	0	15	1
東京グリーン	17	16	18	17	1	1	17	0
埼玉	7	7	7	7	0	0	7	0
東京北	10	9	12	12	0	0	12	0
所沢	10	10	10	10	0	1	9	△1
東京ひがし	12	12	12	11	0	0	11	0
川越	11	12	11	11	0	1	10	△1
茨城	14	13	13	12	0	2	10	△2
東京ベイサイド	15	14	14	14	0	0	14	0
クラブ数: 10	131	128	132	129	2	5	126	△3
東新部								
東京	27	27	26	26	0	0	26	0
東京むかで	14	14	13	13	0	0	13	0
*東京世田谷	13	14	14	14	0	3	11	△3
東京まちだ (2018年6月解散)	5	5	—	—	—	—	—	—
東京町田コスモス	6	6	9	9	0	0	9	0
東京センチアル	6	6	7	8	0	0	8	0
信越妙高 (2018年6月解散)	5	5	—	—	—	—	—	—
東京多摩みなみ	14	13	13	13	1	0	14	1
東京町田スマイリング				0	11	0	11	11
クラブ数: 7	90	90	82	83	12	3	92	0

部 名 クラブ名	2017	2018	2018	2019	2019.7.1			直近 増減
	7・1	1・1	7・1	1・1	入会	退会	差引	
あずさ部								
甲府	35	35	35	34	1	0	35	1
東京山手	14	14	13	13	0	2	11	△2
東京西	15	16	16	15	0	0	15	0
東京武蔵野多摩	12	13	12	12	0	1	11	△1
*松本	10	10	11	11	0	0	11	0
東京サンライズ	15	15	15	15	0	0	15	0
甲府21	24	26	26	30	2	0	32	2
東京八王子	17	16	17	16	0	1	15	△1
東京たんぼぼ	7	7	7	7	0	0	7	0
*富士五湖	11	11	11	11	0	0	11	0
*長野	14	13	12	11	0	3	8	△3
クラブ数: 11	174	176	175	175	3	7	171	△4
湘南・沖縄部								
横浜	17	17	13	13	0	1	12	△1
*沖縄那覇	10	8	9	9	0	8	1	△8
鎌倉	9	9	8	8	0	0	8	0
横浜とつか	12	11	11	12	1	0	13	1
厚木	17	17	16	17	0	1	16	△1
金沢八景	16	15	15	15	0	2	13	△2
横浜つづき	19	18	17	18	0	1	17	△1
*沖縄	15	13	13	13	1	0	14	1
横浜つるみ				0	9	0	9	9
クラブ数: 9	115	108	102	105	11	13	103	△2
富士山部								
*熱海	42	45	46	45	0	2	43	△2
*沼津	17	19	18	18	0	5	13	△5
*伊東	27	28	24	24	0	0	24	0
*三島	11	12	11	13	0	1	12	△1
*下田	7	8	8	7	0	0	7	0
*熱海グローリー	19	18	17	17	0	0	17	0
*御殿場	24	24	24	24	0	3	21	△3
富士	20	19	16	16	0	0	16	0
*富士宮	20	20	19	19	1	0	20	1
クラブ数: 9	187	193	183	183	1	11	173	△10
東日本区合計								
2,017	2,018	2,018	2,019	2019.7.1			直近 増減	
7・1	1・1	7・1	1・1	入会	退会	差引		
総クラブ数	61	61	59	59	クラブ数: 61		2	
総会員数	886	884	860	866	33	50	849	△17

*印のクラブは、担当主事がないか、または在籍していても複数クラブ担当のため、当該クラブの人数には含まれません。

2018-2019 年度
第 1 回役員会議事録

日時：2018 年 7 月 7 日（土）10 時 30 分～17 時 00 分

場所：日本 YMCA 同盟 JRM 会議室

出席者：29 名（議決権者 16 名中 14 名）

記録：東日本区書記 板村哲也

1. 開会式（10:30～11:00）

開会点鐘 宮内理事

ワイズソング、ワイズの信条 一同

開会挨拶 宮内友弥東日本区理事

挨拶：

田中博之国際議員・アジア太平洋地域会長
挨拶以外に国際協会の会員数と献金状況、日
本・東日本区の地位に関する統計の提示あり。

出席者確認

板村書記より出席者と欠席者の報告。

この時点での出席は 27 名。

議決権者の出席は 16 名中 13 名。

議長

宮内理事が、東日本区定款第 8 条第 2 項の
定めにより、本役員会の議長を務める旨を述
べた。

役員会成立の宣言

議長は議決権者の出席状況が、定款第 8 条
第 4 項に定める要件（議決権者の 2/3 以上の
出席）を満たしており、役員会が有効に成立
したと宣言した。

議事録署名人選出

議長は、山田次期理事欠席のため、栗本直前
理事と利根川文献・組織検討委員会委員長を
議事録署名人に指名した。

2. 議案審議・協議（議事の経過の要領およびそ の結果）（11:00～12:05）

第 1 号議案「2017-2018 年度東日本区第 4 回役 員会議事録承認の件」

（提案者：栗本直前理事）

議長の指名により栗本直前理事が議案書に
基づき本議案の内容について説明を行った。
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮っ
たところ、出席者全員（13 名）の賛成（挙
手）をもって、原案どおり承認された。

第 2 号議案「2017-2018 年度東日本区年次代議 員会議事録承認の件」

（提案者：栗本直前理事）

議長の指名により栗本直前理事が議案書に
基づき本議案の内容について説明を行った。
5 カ所の誤字等の指摘があり、これらの修正を
行った。

・ 5 号議案、9 号議案、代議委員→代議員
訂正（3 箇所）

・ 4 号議案、開催次期→開催時期
訂正（1 箇所）

・ 議事録署名人 文献・組織検討委員長
→文献・組織検討委員会委員長（1 箇所）
主な質疑応答（主旨）は以下の通り。

質問 1) 東日本区として、記録を継承してい
くために必要ではないか。

質問 2) 役員会で議案承認された内容を、役
員会で承認する必要があるのか？否
決された場合、何をどうするのか？

回答 1) 第 4 回役員会、年次代議員会に出席
していない人に報告事項に間違いな
いことを確認してもらいたい。

新定款により代議員会の議長は、前
年度の部長から選任される。今年度
は、伊藤幾夫さんとなった。

質問 3) 議事録の書き方が一貫していない。
名前の書き方、姓と名の間にスペー
スがあったり、なかったりする。

回答 3)（スペース無しにする：渡辺）

その後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、
出席者全員（13 名）の賛成（挙手）をもっ
て、原案どおり承認された。

第 3 号議案「2018-2019 年度東日本区主催の会 合での礼拝献金贈呈先の件」

（提案者：宮内理事）

議長は議案書に基づき本議案の内容につい
て説明を行った。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮っ
たところ、出席者全員（13 名）の賛成（挙
手）をもって、原案どおり承認された。贈呈
先は下記の通り。

・ 東日本区東日本大震災支援募金

・ 熊本 YMCA 支援募金

但し、緊急に対応を行う必要がある案件が発
生した場合は、常任役員会の決議により、贈
呈先を変更することも有り得る。

第 4 号議案「2017-2018 年度東日本区会計決算

報告および会計監査報告承認の件

(提案者：栗本直前理事)

議長の指名により栗本直前理事が、また栗本直前理事の指名により小原直前会計が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。また鈴木監事が監査結果について報告を行った。

主な質疑応答（主旨）は以下の通り。

質問 1) 決算（中ページ）のメネットと、メネット委員会の違いは。

回答 1) 中ページは、メネット献金。

質問 2) 監査報告書の日時 7月6日、定款第16条第2項となっているが、新定款の対応なのか、旧定款の対応範囲なのか。

回答 2) そこまで考慮していなかった。

質問 3) メネット委員会の会計について監査する必要があるか。他の事業（YVLF等）の、会計報告が出ているのか。区の事業であれば。他の事業は、区の会計を通してあるので問題ないのでは。

回答 3) 3年前まで、メネット委員会の中で監査をしていた。しかし、メネット委員の中では問題あるかもしれないので、監査が始まった。

質問 4) ユース委員会においても、透明性を出すために監査が必要なのではないか。

回答 4) 現在進めている最中。

質問 5) 会計報告は必要だが、監査まで必要か。精査は必要。常任→役員会に報告ではどうか。

回答 5) 再度検討しながら、進める。

質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（13名）の賛成（挙手）をもって、原案どおり承認された。

第5号議案「東日本区改定定款一部修正案の発効日について」 (提案者：宮内理事)

議長は議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。

主な質疑応答（主旨）は以下の通り。

質問 1) 10月に発効ということは、それまでは不可なのか。

回答 1) 東日本区としてオフィシャルに発効

するのは国際議会承認後。実質は5名で可能。

質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（13名）の賛成（挙手）をもって、原案どおり承認された。

第6号議案「次次期理事の候補者指名について」

(提案者：宮内理事)

議長の指名により利根川直前指名委員会委員長が議案書に基づき本議案の内容について説明を行い、現時点で候補者が未定と説明があった。これに対し動議が提出された。

動議 1 (栗本)：指名候補者が決定次第、電磁的方法による臨時役員会を開催する。続いて代議員会を郵便で行う。

賛同者（セコンド）：衣笠

議長が本動議について賛否を諮ったところ、出席者全員（13名）の賛成（挙手）をもって、承認された。

これに対し再度動議が提出された。

動議 2 (栗本)：今年度の次次期理事が決定するまで前年度指名委員長および委員が引き続き任務を継続する。

賛同者（セコンド）：山本

議長が本動議について賛否を諮ったところ、出席者全員（13名）の賛成（挙手）をもって、承認された。

第7号議案「第22回東日本区大会登録費の件」

(提案者：宮内理事)

議長は議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。また議長の指名により山口副書記が補足説明を行った。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（13名）の賛成（挙手）をもって、原案どおり承認された。

第22回東日本区大会(国立オリンピック記念青少年総合センター、東京)の登録費は下記の通り。

- ・メンバー及びパートナー 13,000円
- ・コメント(中学生以下) 5,000円
- ・ユース(15歳から30歳)※ 7,000円

※ユースは当日開催のユースの会参加者

第8号議案「部主催ユース事業の支援について」

提案者：山本ユース事業主任)

議長の指名により山本ユース事業主任が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。

主な質疑応答（主旨）は以下の通り。

質問 1) ユース事業はこれのみか。他の事業についても議案とした方が良いのではないか。

回答 1) 2018-2019 年度ユース事業方針を参照頂きたい。ユース事業としては、部事業支援、YVLF（予算計上済）、OFY（11月の役員会で報告）、AYCの参加を支援する。

質問 2) 手順として、事業毎の予算として上程するべきではなかったか。

質問 3) 事業方針として報告あるのではないか。

回答 3) 部主催の事業については既に今までも実施されているが、周知徹底するために今回は敢えて提出してもらった。

質問 4) これだけ出すと、見えないところが出てきてしまうのではないか。今は過渡期だが、これからは、透明化していったほうがよいのではないか。

質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（13名）の賛成（挙手）をもって、原案どおり承認された。支援の内容は下記の通り。

- ・部主催のユース事業に対して 5 万円を上限とする資金支援を行う。（要申請）

3. 区活動計画（12:05～12:35）

プログラムに記載順に、区報または当日配付の資料を用いて方針、計画の説明が行われた。

- ① 理事方針（宮内理事）
- ② 地域奉仕・YMCA サービス事業（大久保事業主任）
- ③ 会員増強事業（伊丹事業主任）
- ④ 国際・交流事業（小原事業主任）
- ⑤ ユース事業（山本事業主任）

<集合写真撮影、昼食、休憩>（12:35～13:20）

4. 各部活動計画（13:20～14:05）

プログラムに記載順に、区報または当日配付の資料を用いて計画の説明が行われた。

- ① 北海道部（二本松部長）
欠席のため区報に記載の内容のみ。
- ② 北東部（涌澤部長）
- ③ 関東東部（衣笠部長）
- ④ 東新部（神保部長）
- ⑤ あずさ部（廣瀬部長）
- ⑥ 湘南・沖縄部（佐藤部長）
- ⑦ 富士山部（渡邊部長）

5. 委員会・専任委員等活動計画（14:05～15:00）

プログラムに記載順に、区報または当日配付の資料を用いて計画の説明が行われた。

- ① 文献・組織検討委員会（利根川委員長）
- ② LT 委員会（北村委員長）
- ③ JEF 運営委員会（高田委員長）
- ④ メネット委員会（井上委員長）
発表時間帯に別室でワイズメネット委員会の開催があり、中座。井上委員長の依頼により書記が書面（活動計画）を代読。

注：プログラムに記載の氏名を訂正：井上裕子→井上優子

- ⑤ 東日本大震災支援対策本部（宮内本部長）
- ⑥ ヒストリアン（仙洞田ヒストリアン）
- ⑦ IT アドバイザー（大久保アドバイザー）
- ⑧ トラベルコーディネーター（長澤コーディネーター）
- ⑨ 広報・伝達（PR）専任委員（渡辺委員）
- ⑩ 東日本区定款改訂委員会（辻委員長）
- ⑪ YMCA 関連（光永担当主事）
- ⑫ 東日本区事務所（小山事務所長）
- ⑬ その他
 - ・理事通信について（山口副書記）
 - ・役員メールアドレスを国際協会に登録済（宮内理事）
 - ・アジア太平洋地域のウェブサイトについて（田中アジア太平洋地域会長）
 - ・湘南・沖縄部部大会について

<休憩>（15:00～15:13）

6. 協議「E を中心とする EMC 活動の現状と課題について」（15:13～16:40）

司会 宮内友弥理事
 理事より今回の役員会で協議の時間を設けた趣旨・目的につき説明。
 各部のエクステンション委員会の状況につき、伊丹事業主任から資料に沿って報告、説明。
 その後フリーディスカッションを実施。
 最後に理事から下記の発言あり。
 今日の意見を EMC 事業委員会に持ち帰り、今後の体制作り、支援策について出来るだけ早く実動できるように検討したい。
 部長を中心に、要望は積極的に事業主任に連絡願いたい。
 部の会員増強目標をまとめ事業主任に報告願いたい。
 部長より、できるだけクラブの中で Extension の話をする様要請願、その結果を事業主任にフィードバック願いたい。

7. 監事講評 (16:40~16:44)
 鈴木監事および漆畑監事より講評が行われた。

8. 連絡事項 (16:44~16:48)
- ① YMCA ユースファンドへの協力要請
 - ② 区報の表紙の修正 (change→challenge)
 - ③ 次回 (第2回役員会) 11月10日 (土)
 - ④ 本日の懇親会の案内

9. 閉会式 (16:53~16:58)
- ① YMCA の歌 一同
 - ② 閉会挨拶 栗本治郎直前理事
 - ③ 閉会点鐘 宮内友弥理事

【第1回東日本区役員会出席者】

〔議決権保持者〕 (14名)

議案審議時には廣瀬あずさ部部長不在で13名
 常任役員：
 宮内理事、栗本直前理事、板村書記、長谷川会計
 事業主任：
 大久保地域奉仕・YMCA サービス事業主任、伊丹会員増強事業主任、小原国際・交流事主任、山本ユース事業主任
 部長：

涌澤北東部部長、衣笠関東東部部長、神保東新部部長、廣瀬あずさ部部長、佐藤湘南・沖縄部部長、渡辺富士山部部長

〔役員会構成メンバー〕 (14名)

鈴木監事、漆畑監事、利根川文献・組織検討委員長、北村 LT 委員長、高田 JEF 運営委員長、井上メネット委員長、辻東日本区定款改訂委員長、仙洞田ヒストリアン、大久保 IT アドバイザー、長澤トラベルコーディネーター、渡辺広報・伝達 (PR) 専任委員、山口副書記、光永担当主事、小山東日本区事務所所長

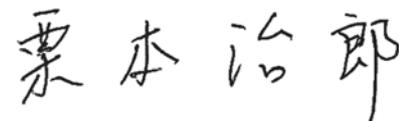
〔オブザーバー〕 (2名)

田中アジア太平洋地域会長、小原直前会計

【第1回東日本区役員会欠席者】

山田敏明次期理事、二本松能敬北海道部部長、山田公平スペシャルアドバイザー

議事録署名人
 直前理事



議事録署名人
 文献・組織検討委員会委員長



2018-2019 年度 臨時役員会報告

2017-2018 年度年次代議員会 (2018 年 6 月 2 日) で第 6 号議案 (次々期理事候補者の指名) については、候補者未定のため後日の郵便による代議員会で議決することが承認されました。本件の郵便による代議員会への上程に先立ち、電子的方法による役員会 (2018 年 7 月 27 日~30 日) が開催され、期間中に議決権者 16 名中 14 名の承認があり、候補者として板村哲也 (東京武蔵野多摩) を指名することが承認されました。

ルディスカッションの報告。

3. 各部活動報告 (11:43~12:30)

- ① 北海道部 (二本松部長)
 - ・ワークブックに沿って活動報告が行われた。
 - ・2019年1月14日北海道4クラブ合同例会 (於:札幌)
- ② 北東部 (涌澤部長)
 - ・ワークブックに記載の全行事それぞれにつき簡潔に報告が行われた。
- ③ 関東東部 (衣笠部長)
 - ・ワークブックに記載の項目1. (緒言) 及び5. (ユース事業主査報告) に焦点を当てて説明が行われた。
- ④ 東新部 (神保部長)
 - ・部大会は各クラブが今やっていることを纏めて報告しあう時間とした。
 - ・新年度に入り2名の増員が可能となった。
 - ・新クラブ設立総会 (2018. 11. 18)
 - ・4部合同 EMC シンポジウム開催予定 (2019年2月16日)
- ⑤ あずさ部 (廣瀬部長)
 - ・あずさ部部大会の結果報告。参加者 102名、内女性が1/3以上。
 - ・部長訪問の機会に卓話に代え、会員とディスカッションを行った。
 - ・昔と違い今は世間一般がYMCAを知らない。一般の人がYMCAを知らなければ会員増強に繋がることはない。
 - ・山梨YMCAでバザーを行った (11月3日)。来場者 1000人。
 - ・YMCAのためにどういうことをすべきかということをあずさ部で試させてもらった。
- ⑥ 湘南・沖縄部 (佐藤部長)
 - ・主なものにつき報告が行われた。鎌倉クラブ (公式訪問)、横浜とつかクラブ (入会立ち合い)、金沢八景クラブ (小学生のバスケットボール決勝戦)、厚木クラブ (1名入会)、横浜つづきクラブ (入会式)、第2回エクステンション委員会、第22回湘南・沖縄部部大会 (佐治晴夫博士講演)。

- ⑦ 富士山部 (渡邊部長)
 - ・北海道部会 (8月25日) に参加、チミケップキャンプ場を視察。
 - ・麗水での国際大会に参加。
 - ・エクステンションは伊豆方面は思わしくないが、別に部内で新たなクラブ設立の話が出ている。
- ⑧ 全体を通しての追加報告、質疑応答等
 - ・仙台YMCAにY'sの東日本大震災の募金を200万円移管したが、その使用状況を追って確認する。
 - ・4部合同 EMC シンポジウムは東日本区LT委員会で昨年に続き今年も正式に協力する。
 - ・YとY'sの協力関係の原則6. について議論を行った。

<集合写真撮影、昼食、休憩>

(12:30~13:20)

4. 委員会・専任委員等活動報告

(13:20~14:00)

- ① 文献・組織検討委員会 (利根川委員長)
 - ・理事から諮問があったものにつき検討中。法人化については長期的視野でということであり、また今年度は検討事項が多いので、法人化はできる範囲で検討していく。
 - ・役員会の決議を必要とするものについては第3回役員会 (2019年4月) に提案出来るように取り進める。
 - ・会員増強に関する提言については先日理事に答申済み。
- ② LT委員会 (北村委員長)
 - ・以下につき強調説明が行われた。マニュアルの整備、ITツールの導入、次期部長・事業主任研修会。
 - ・委員会は、研修会のある月を除き毎月開催。
- ③ JEF運営委員会 (高田委員長)
 - ・JEF (Japan East Y's Men's Fund) のEFをEndowment FundのEFと勘違いされることがある。部長には会員にJEFの理解を深めて頂くようお願いする。
 - ・アジア大会のためという名目の献金も

お願いしたい。

- ④ メネット委員会（井上委員長）
- ・強調点は昨年の東日本支援金の使途。
 - ・メネット会よりメネットに来年のアジア太平洋地域大会のための平和の折り鶴の協力をお願いする予定。
- ⑤ 東日本大震災支援対策本部（宮内本部長）
- 残高：前期引継 613,766 円。その後信越妙高クラブより約 12 万円、Ms. Rose Yun（アジア太平洋地域の香港事務のコーディネーター）訪日時の寄付 2 万円あり、本日現在の残高 749,682 円。
- 支出予定：津波教え石の桜植樹会（長野クラブ）、歌の出前（於石巻）（東京たんぽぽクラブ）の申請あり、支払予定。
- ⑥ 東日本区定款改訂委員会（辻委員長）
- 東日本区定款の追加修正に対する国際の承認が 11 月 12 日に出る予定ということであるので、承認が出れば名実ともにこの委員会の使命は終了となる。
- ⑦ YMCA（有田西日本区連絡主事）
- 以下 3 件の報告があった。
- ・日本 YMCA 同盟報告 20181110
 - ・西日本豪雨災害被災地支援 Report①
 - ・第 46 回全国学生 YMCA 夏期ゼミナール。
- ⑧ 東日本区事務所（小山事務所長）
- 国際投票の権利のある 23 クラブの全会長の名前とメールアドレスを確認の上、国際に登録済み。投票できるクラブは必ず投票のこと。
- ⑨ その他
- 次期会長・部役員 of 早期決定および次期会長・部役員研修会の広報に現部長の協力をお願いする。（北村）

5. 議案審議（14:00～16:30）

議長：宮内理事

この時点での出席議決権者：16 名中 15 名

採決方法：挙手

第 1 号議案「2018-19 年度第 1 回役員会議事録承認の件」

宮内理事の発議の後、板村書記より 7 カ所の

字句（ミスタイプ）を修正。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員の賛成をもって承認された。

第 2 号議案「第 21 回東日本区大会決算報告（別紙）及び余剰金の扱いについて」

議長の指名により、栗本直前理事が議案書に基づき説明を行った。また鈴木監事が監査報告を行った。さらに渡邊部長（沼津クラブ）より区大会につき挨拶と報告があった。

質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員の賛成をもって、原案どおり承認された。

第 3 号議案「2019-2020 年度東日本区役員承認の件」

議長の指名により、山田次期理事が議案書に基づき説明を行った。また来年度の東日本区の行事予定についても説明を行った。

主な質疑応答（主旨）、コメントは下記の通り。

- ・副会計を 2 名設置するのは地理的要因によるもの。旧理事事務局長＝副書記ではない旨の指摘・確認があった。
- ・本日の出欠表で東日本区事務所人事委員会委員長が常置委員会に含まれているのは誤り。特別委員会に含めるのが正しい
- ・板村次次期理事は国際・交流事業主任の兼務となるため、役員会の議決権数は 1 減となり計 15 となる。定款にはこの様な場合の規定がなく、定款施行細則に規定することを検討する。

質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員の賛成をもって、原案どおり承認された。

<休憩>（14:33～14:45）

第 4 号議案「2022 年をゴールとする中期会員増強運動を展開すること」

議長の指名により、伊丹会員増強事業主任が議案書に基づき説明を行った。その後、栗本 E チームリーダー、板村文献組織検討委員会会員増強小委員会委員、宮内理事が補足説明を行った。

<説明>

本日の会議は、事態を早く進めるための方針稟議で、EMC 事業委員会としてこういうことをして行きたいという提案。議案が承認されれば具体策、詳細を詰めて行く。拡大 EMC 事業委員会の体制・組織については、これを全員に知って頂く目的もあり記している。また部や他組織との連携の在り方も示している。本件は4年間の中期計画で代々の理事、EMC 事業委員長を中心に推進する。新クラブ設立のための人数を5人以上とする。5人では実行性の問題等の指摘はあるが、とにかく立ち上げ拡大してゆくことを考える。また(アンケートで)新しいワイズ像、新しいクラブの形を考えて行く。

予算は大雑把に500万円、財源は未定で、今後の検討となる。

本件は理事、事業委員会、部長、会長、会員の全員で取り組むプロジェクトであり隔々まで情報の浸透・共有をお願いしたい。

<質疑応答>

提案の体制・組織やメンバーの任期につき定款他規定との整合性に問題が生じるのではないかと質疑応答があったが、提案の拡大 EMC 事業委員会(議案承認前は未存在)は常置委員会扱いしない(時限)と判断され定款の摘要はされないとの見解となった。なお議案内容の説明文中の「会員増強小委員会委員」を「現在の会員増強小委員会委員」と読む。

本役員会の承認を得て、理事が拡大 EMC 事業委員会(2022年まで)を設置すると解釈することで良いとの判断となった。質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員の賛成をもって、原案どおり承認された。

第5号議案 「ユース事業年間計画について」

山本ユース事業主任が議案書に基づき説明を行った。

ユース事業の所管体制、事業の取り組み方(区による事業および予算の事前承認)、経理処理につき、問題の指摘と議論がなされた。

昨年度末にこれまでのユース事業の取り組み方を見直すことになったため、手続きが

時間的に間に合わなかったこともあり混乱が生じたが、次年度以降は然るべく手続きを進める(ユース事業委員会→常任役員会→役員会)ことが確認された。

質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員の賛成をもって、原案どおり承認された。

6. 協議 (16:30~16:57)

(1) ヤングメンバー区大会登録費補助制度について (宮内理事)

本制度は今年度までの時限立法。継続、廃止あるいはその他の方法とするか。対象者の規定(年齢、ワイズ歴)、目的、費用対効果、出席者の固定化の問題、クラブ立地条件によっては旅費が高額、区大会を毎年開催するかどうか等の意見が出たが、本件については、常任役員会で検討しその結果を次回(第3回)役員会に諮ることとすることになった。

(2) 会員増強計画について (伊丹会員増強事業主任)

本日の活動報告、議案を踏まえ、YとY'sの関係のありかた、ワイズ外の専門家、学識経験者によるY'sの組織、活動その他全てを見直す必要性などの意見が出た。

7. 監事講評 (16:57~17:05)

鈴木監事

区の役割、部の役割をお互いに認識し、それぞれが最大限の努力をすることの必要性を痛感した。

漆畑監事

ワイズ(東日本区)の基本を知りながら自由に考えて行くことが必要

8. 閉会式 (17:05 ~17:08)

YMCA の歌 :

一同

閉会挨拶 :

山田次期理事

ASP 大会バッジ装着のススメ。

来年度理事標語「勇気ある変革、愛ある行動！」(岡本尚男第40代日本区理事の主題に同じ)

閉会点鐘 :

宮内理事

【第2回東日本区役員会出席者】

〔議決権保持者〕(15名)

常任役員：

宮内理事、山田次期理事、栗本直前理事、
板村書記、長谷川会計(計5名)

事業主任：

伊丹会員増強事業主任、小原国際・交流主
任、山本ユース事業主任(計3名)

部長：

二本松北海道部部长、涌澤北東部部長、衣
笠関東東部部長、神保東新部部長、廣瀬あ
ずさ部部长、佐藤湘南・沖縄部部长、渡辺
富士山部部长(計7名)

〔役員会構成メンバー〕(11名)

鈴木監事、漆畑監事、利根川文献・組織検
討委員長、北村LT委員長、高田JEF運営
委員長、井上メネット委員長、辻東日本区
定款改訂委員長、渡辺広報・伝達(PR)専
任委員、山田公平スペシャルアドバイザー、
山口副書記、小山東日本区事務所所長、有田
担当主事(光永主事代理)

【第2回東日本区役員会欠席者】

大久保地域奉仕・YMCA サービス事業主任

議事録署名人

次期理事

山田 敏明

議事録署名人

文献・組織検討委員会委員長

利根川 恵子

2018-2019 年度
第3回役員会議事録

日時：2019年4月6日(土)14時00分

～4月7日11時25分

場所：日本YMCA同盟東山荘

出席者：39名(議決権者16名中13名)

記録：東日本区書記 板村哲也

第1日目(4月6日)

開会式(14:00～14:19)

開会点鐘：

宮内友弥理事

ワイズソング、ワイズの信条： 一同

開会挨拶： 宮内友弥理事

本年度も残り3ヵ月となった。会員は直前
期より6名増となっているが、東日本区発
足時と比較すると30%減となっており、厳
しい状況。残り3か月に何をなすべきか、
次期に何を託すべきかを整理して残りの
期間を頑張っていきたい。皆様もそれぞ
れの立場で目標達成に尽力して頂きたい。

出席者確認

板村書記より出席者と欠席者の報告。

この時点での出席者は34名。

議長

宮内理事(東日本区定款第8条第2項の定
めによる)

役員会成立の宣言

議長は本役員会が成立したことを宣言し
た。

議事録署名人選出

立候補者なし。議長は山田次期理事と利根
川文献・組織検討委員会委員長を議事録署
名人に指名し賛同を得た。

オリエンテーション：

山口副書記

光永担当主事

本役員会および会場施設利用に関する説
明。

2. 区活動報告(14:20～15:28)

① 東日本区の現状(宮内理事)

ワークブックおよびPPにより説明が行
われ、今後の重点課題として下記の点が
強調された。

- ・法人化の再検討。文献・組織検討委員
会内に小委員会(法人化問題再検討委
員会)の設置とそのメンバーが認めら
れた。
- ・外部への広報活動として、認知度の向
上、SNSの活用。
- ・会員増強推進運動。

② 国際協会・アジア太平洋地域の現状

(田中アジア太平洋地域会長・国際議
員)

- ・席上で下記の資料が配布された
－PPの抜粋
－チャレンジ22に関する国際協会より

- 会長宛て発信予定のメール
- ・ワークブック、配布資料及びPPにより説明が行われた。
- ③ YMCA リエゾン（山田公平スペシャルアドバイザー）
- ・世界 YMCA 同盟の総主事が YMCA を辞め、Y's のメンバーとなった。また現世界 YMCA 同盟の総主事が Y's のメンバーとなった。
 - ・これまでヨーロッパ、アメリカ、アフリカの総主事で積極的にこのような動きをしてきた人はあまりいない。
 - ・これらの動きには、YMCA 側として Y's に協力することが YMCA にプラスとなると思っていることが感じられる。
 - ・YMCA と Y's をつなぐ人（リエゾン）がローカルの YMCA と Y's の関係作りの主要人物となる。この人がいないとなかなか接点が出ない。日本はいい方だが、世界の YMCA と Y's の関係まだまだ足りない。
 - ・リエゾンをどう選ぶかが今後の方向性を定めると思う。
- ④ 地域奉仕・YMCA サービス事業活動報告（大久保事業主任）
- ワークブックに記載の内容に沿った説明が行われた。
- ⑤ 国際・交流事業（小原事業主任）
- 資料訂正：P11 本文 5 用行目「BF 基金」を「EF 基金」に訂正。
- ワークブックに記載の内容に沿った説明が行われた。強調点は次の通り。
- ・各種献金：献金ゼロクラブが前期より増えたが（10 クラブ）、報告もれや献金忘れ、これから献金するというクラブもあった。次期においては献金ゼロクラブを減らすために各部の段階で各クラブに声掛けをお願いしたい。
 - ・BF 使用済み切手：今年は 27,210 円。送料の方が高額となった。次期は送付方法を工夫してもらいたい。
 - ・IBC：アジア太平洋地域大会（於：仙台）でクワドラングル締結を期待している。
- ⑥ 会員増強事業（伊丹事業主任）
- ・席上で資料「特別委員会プロジェクト X（仮称）」が配布された。
- ・資料に基づき、第 2 回役員会で取り進めが承認された「2022 年をゴールとする中期会員増強運動」のその後の進捗とプロジェクト X（仮称）及び（仮）会員増強推進委員会につき説明が行われた。
 - ・EMC に関するアンケートについて説明が行われた。
 - ・ワークブックに記載の内、エクステンションの状況、会員増強の状況および事業計画につき強調説明が行われた。
- ⑦ ユース事業（山本事業主任）
- ワークブックおよび PP により下記 4 点につき報告が行われた。
- ・STEP 留学生受け入れ
留学生の滞日中の状況および留学生受け入れに際して考慮すべきこと（旅行保険への加入など）の指摘などが行われた。
 - ・オープンフォーラム Y
これがどのような事業かの説明のため、昨年の開催状況につき説明が行われた。
 - ・AYC（於：アジア太平洋地域大会）
東日本区枠は 9 名。現在の予想参加者は 5～6 名。定員一杯の参加を期待。
 - ・IYC/AYC の OB/OG 会の企画
約 60 人の名簿を作っている。
- ⑧ 全体を通しての追加報告、質疑応答等
- ・来期の BF 代表の応募締切：5 月 1 日。各自 Web site から申し込むこと。（田中）
 - ・チャレンジ 22 のメールは区の会員増強運動と動きが重複しているようだが、目的はいずれも同じで会員増強。チャレンジ 22 の会長への要請も（仮）会員増強推進委員会で取り込み整理・サポートすることができれば効率的ではないか。（辻）
チャレンジ 22 は個人での対応が難しいこともあるので、できるだけ区でまとめて頂ければ有難い。（田中）
3. 各部活動報告（15:28～15:50）
- ① 北海道部（二本松部長）

- ワークブックに記載の内容に沿って説明が行われた。
- ・記録的な報告は東日本区大会に回すこととした。
 - ・ワークブックには個人の心情的なもの、思いを記した。
 - ・YMCAのスタッフなり主事がY'sにいろいろ要求を出してくる方がY'sは動きやすいと感じた。
 - ・今年から部会以外に4クラブが顔を合わせる機会を設けた。1月の合同新年会(札幌)、5月第二土曜日の山菜例会。皆さんも参加して欲しい。
- ② あずさ部(廣瀬部長)
- ワークブックに記載の内容に沿って説明が行われた
- ・これまでの活動はワークブックに記した。
 - ・4部合同EMCシンポジウムは実りのある会議と感じた。
 - ・甲府21クラブにて第24回東日本区大会のホストを引き受けることとした。
(注:後刻議案審議)
 - ・(仮)プロジェクトXで会員増強について勉強していきたい。
 - ・4月13日(土)にベビーカーコンサートを開催予定。またこの機会に2名の入会式を行う。
- ③ 湘南・沖縄部(佐藤部長)
- ・資料の誤記を訂正。P18下から12行目:「6月7日」を「6月16日」に訂正。
 - ・ワークブックに沿って簡潔に報告が行われた。
- ④ 富士山部(渡邊部長)
- ・ワークブックに沿って簡潔に報告が行われた。
 - ・3月21日に第1回エクステンション委員会を開催した。
 - ・ワイズ説明する機会にY'sはYMCAの支援団体と言っているが、YMCAを知らない人が多い。
 - ・YMCAのリーダーがいないため、独自でキャンプなどの活動を展開している。
- ⑤ ワイズメネット(井上委員長)
- ワークブックに記載の内容に沿って説明

が行われた

- ・第3回委員会を4月24日に開催し区大会のメネットアワーの内容等につき検討する。
- ・YMCAに贈呈する絵本については6月以降に再度委員会を持つ。
- ・昨年受領した東日本大震災のワイズメネット献金を2箇所の被災地支援に充当した。そのうち仙台のSTORIAからワイズメネット委員会宛てに感謝とともに卒業式への招待があった。これまでにないことで感激した。
- ・ワイズメネットの先細りを心配するかつてのワイズメネットが女子会的な集まりを持っている。
- ・ワイズのパートナーとしてワイズメネットが細くても長く活動を続けることの必要性を感じた。
- ・折り鶴はこれからも受け付ける。

<集合写真撮影、休憩>

(15:50~16:00)

4. 委員会・専任委員等活動報告

(16:00~16:55)

- ① 文献・組織検討委員会(利根川委員長)
- ・ワークブックに記載の内容に沿って説明が行われた。
- ② LT委員会(北村委員長)
- ワークブックに記載の内容に沿って説明が行われた。
- ・各種マニュアルを新定款と整合性のある内容に改め文献・組織検討委員会に提示の予定。
 - ・次期会長・部役員研修会はEMCの重要性を強調する内容のものとした。
 - ・ワイズは一人一人が主役、一人一人が推進力を持つことを認識してもらう目的で研修会を行った。
- ③ JEF運営委員会(高田委員長)
- 席上で資料(感謝の気持ちJEFへ)を配布。
- ワークブックに記載の内容に沿って説明が行われた
- ・JEF(Japan East Y's Men's Fund)のEF

- を Endowment Fund の EF と勘違いされる
ことがある。
- ・2022 年をゴールとする中期会員増強運動
に 280 万円を支出することを決めた。
(注：後刻議案審議)
- ・献金状況：ワークブックに掲載以降の献
金は理事通信 4 月号に掲載。現時点で累
計 35 万円。
- ④ 東日本大震災支援対策本部（宮内本部
長）
 - ・席上で資料（2018-2019 年度東日本大
震災支援対策本部活動報告 3 月 31 日
現在）配布。
 - ・残高：前期引継 613,766 円。3 月 31 日現
在の残高 741,980 円。
 - ・今後の支出予定：東京たんぽぽクラブ
関係。
- ⑤ ヒストリアン（仙洞田ヒストリアン）
 - ・ヒストリアンの職務は資料の保存だ
が、歴史上のことについて問い合わせ
が来る。
 - ・クラブ周年記念誌、新クラブの設立総
会・チャーターナイトのプログラム等
があれば保存のため提供願いたい。
 - ・区大会の資料も収集。
 - ・年表的なものを作成中。
 - ・参考：YMCA の歌が区大会で歌われた
記録が一番古いのは第 24 回大会（1969
年）。
- ⑥ IT アドバイザー（大久保アドバイザー）
 - ・ワークブックに沿って報告が行われた。
 - ・会員増強運動で取り組む予定の SNS と
HP の相互リンクは有効であろうと考え
られる。
 - ・ML の利用は低調。
 - ・今ある ML とは異なる括りの ML が有
っても良いかも知れない（例：目的
別 ML）。
- ⑦ 東日本区定款改訂委員会（辻委員長）
 - 席上で報告書（定款改訂委員会報告（最
終回））を配布。
 - ・資料の字句の訂正：本文 2 行目「改訂
粗案」を「改訂素案」に修正。
 - ・資料に沿って報告が行われた。

- ・定款の改訂は 2012 年の諮問に始まる。
2018 年に作業終了となったので 6～
7 年間作業を続けたことになる。
- ・改訂定款の前文を読み上げ。何かにつ
けこの前文を引用して欲しい。
- ・委員会は本年度末をもって解散。これ
までの皆さまのご協力に感謝。
- ⑧ YMCA（光永東日本区連絡主事）
 - ・席上で YMCA 関係資料 6 点の配布あ
り。
 - ・PP とワークブックで報告が行われた。
 - ・東山荘の歴史の説明が行われた。
 - ・東山荘ワイズメンズクラブ（毎年 1 月
東当山荘にて開催）への誘い。
 - ・この 3 年間で全国の YMCA の総主事の
半数以上が交代。リーダーシップとし
て新しい動き。
 - ・YMCA の 5 事業に対し東日本区から
100 万円の支援を受けている。（西日本
区も同額）
 - ・2019 年の言葉：ONE YMCA
 - ・事業戦略を検討中（4 事業領域）。
- ⑨ その他（東日本区大会報告資料）
 - 区大会の部長、事業主任、委員長の報
告資料（PP）作成の依頼。詳細は来週
連絡予定。（板村書記）
- ⑩ 連絡事項（山口副書記）

<次期役員会>

<理事等指名委員会>

(17:00～18:15)

第 2 日目（4 月 7 日）

5. 議案審議（9:00～11:25）

議長

宮内理事（東日本区定款第 8 条第 2 項
の定めによる）

議案審議のための定足数の確認

板村書記にて確認。

この時点での出席議決権者：16 名中 12 名。

成立宣言

議長は議決権者の出席状況が、定款第 8 条
第 4 項に定める要件（議決権者の 2/3 以上
の出席）を満たしており、議案審議のため
の定足数を満たしていると宣言した。

採決方法：挙手

第1号議案「2018-19年度第2回役員会議事録承認の件」

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（12名）の賛成をもって、原案どおり承認された。

第2号議案「2018-2019年度東日本区会計中間決算および監査報告の件」

議長の指名により、長谷川会計が議案書及び席上配布の別紙資料に基づき説明を行った。

また鈴木監事が監査報告を行った。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（12名）の賛成をもって、原案どおり承認された。

第3号議案「2019-2020年度東日本区理事方針の件」

議長の指名により、山田次期理事が議案書に基づき説明を行った。また来年度の東日本区の行事予定について説明を行った。

記述訂正：「みんなで力を合わせて、1・2・3」を「みんなで力を合わせて、1・2・3」に訂正。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（12名）の賛成をもって、原案どおり承認された。

第4号議案「2019-2020年度東日本区予算の件」

議長の指名により、山田次期理事が議案書に基づき説明を行った。さらに増中次期会計より追加説明が行われた。

<質疑応答>

- ・収入の部のYVLF（支援金）の算出根拠は59クラブではなく61クラブとすべきではないかとの異議が出され、予算の立て方が問題となった。
- ・年度中に入金するYVLFの支援金が翌期のYVLFの活動に使用される現状に鑑み年度中の入金額を次期の予算額とする考えと、予算は予測される期初（前年度末）のクラブ数を基に算出計上し、決算は実支出額で経理処理すべきとの考えが提示された。
- ・これ等意見につき原案の59クラブを基礎とした予算額（1,180,000円）は2018-2019年度よりの繰越金と注積を加えることが提案された。

・区の会計処理としては収支の内容に色を付けず事業費として処理すべきとの意見も出された。

・YVLFの収支については経理処理方法変更により実行面で齟齬が生じており、次年以降は予算の立て方を再検討する必要があることが認識された。

質疑応答の後、議長が原案の収入の部のYVLFの算出根拠に「2018-2019年度よりの繰越金」と注積を加えることで本議案の賛否を諮ったところ、出席者12名のうち10名の賛成をもって承認された。

第5号議案「2019-2020年度東日本区役員承認の件」

議長の指名により、山田次期理事が議案書に基づき説明を行い、ワイズメネット委員会委員長を澁谷実季氏とすることを諮った。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（12名）の賛成をもって、原案どおり承認された。

第6号議案「2019-2020年度東日本区事務所長承認の件」

議長の指名により、山田次期理事が議案書に基づき説明を行い、東日本区事務所長を小山憲彦氏とすることを諮った。議案提案書の補足説明は誤記のため削除。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（12名）の賛成をもって、原案どおり承認された。

第7号議案「第24回東日本区大会ホストクラブ立候補の件」

議長が議案書に基づき、議案の説明を行った。続いて議長の指名により、板村次次期理事が補足説明を行った。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（12名）の賛成をもって、原案どおり承認された。

第8号議案「次年度の理事、次期理事、次々期理事および監事の各候補者の指名の件」

議案審議直前に新しい議案提案書が配布された。議長の指名により、栗本直前理事が議案書に基づき説明を行った。

1日目（4月6日）開催の区役員候補者指名委員会の結果、次年度の次次期理事に大久

保知宏氏（宇都宮クラブ）が、また 2019-2021 年度監事に辻剛氏（横浜つづきクラブ）が決定し、議案としたことが伝えられた。以降は両当事者が議場を退出して審議が行われた。

<質疑応答>

監事は他の区役職を兼務することが出来ないこと（定款第 19 条第 6 項）が指摘され、本人にいずれの職務を選択するかを指名委員長より確認したところ、監事を選択するとの意思表示があった。

質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、全員（注：1 名が中座で 11 名）の賛成をもって、原案どおり承認された。

<その他>

来年度代議員会の議長は、定款第 6 条第 11 項に従い、二本松北海道部部長となったことが伝えられた。

第 9 号議案「東日本区定款施行細則第 5 条の改訂について」

議長の指名により、利根川文献・組織検討委員長が議案書に基づき説明を行った。

<質疑応答>

- ・第 5 条のタイトルを「事業主任の事業」とすべき。
- ・「環境」に関する事業がどのようなものか説明が必要。
- ・「環境」とは国際協会という Green Activity を意味している。これを参考に下記の対応を行う。
 - ワイズ用語集の中で「環境」の説明を行う。
 - 事業主任の活動方針で「環境」に関しても明記する。

質疑応答の後、議長が第 5 条のタイトルを「事業主任の事業」と修正し、環境につき上述の対応をすることで本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（12 名）の賛成をもって、承認された。

第 10 号議案「東日本区ワイズ基金支出の件」

議長が議案書及び席上配布の別紙資料に基づき説明を行った。また議長の指名により高田 JEF 運営委員長が経緯説明を行い、その後札埜次期会増強事業主任が補足説明を行った。

<質疑応答>

- ・基金の支出時期について
- ・支出額の内訳について
- ・SNS の運用方法について

質疑応答の後、議長が議案書の提案内容に記述の「今年度（2019 年 6 月末）中に」「今後 2 年間に」と修正することで本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（12 名）の賛成をもって、承認された。

第 11 号議案「YES 活動支援支給規定の見直しの件」

議長の指名により、伊丹会増強事業主任が議案書に基づき説明を行った。

<質疑応答>

- ・本規定そのものの存在
- ・規定文書の存在
- ・規定の改廃に関する手続

規定が役員会で承認されたことは関係当事者の証言で確認されたが、規定文書の存在、改廃手続きについては、席上での確認はできなかった。

現状の説明として、当該規定に基づく YES の運用事例について説明が行われた。

席上より、本件は決議を急ぐ議案ではないので、議案を整理の上、次回役員会に再提案してはどうかとの意見が出された。

上記の議論を踏まえ、議長より本役員会では本議案を取り下げ、次回役員会に再提案することを諮ったところ、出席者全員（注：採決直前に二本松北海道部部長退席により議決権者は 11 名）の賛成をもって承認された。

第 12 号議案「ヤングメンバーに対する東日本区大会登録費補助制度規則の見直しについて」

議長の指名により、伊丹会増強事業主任が議案書に基づき説明を行った。

字句の修正：提案内容 8 行目「第 3 回」を「第 4 回」に修正。

質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（11 名）の賛成をもって、原案どおり承認された。

注：本議事録に「ヤングメンバーに対する東日本区大会登録費補助制度規則」を添付。

第13号議案「ワイズメンズクラブ人財データベースの構築」

議事審議前に議長は本議案の提案者を「ITアドバイザー」から「理事」に修正した。その後理事の指名により、大久保地域奉仕・YMCA サービス事業主任が議案書に基づき説明を行った。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（11名）の賛成をもって、原案どおり承認された。

<予定議案の審議終了>

その他（議案提案件について）

専任委員の理事や常任役員会への議案の提案件について検討して欲しいとの意見が出された。

これに対し、現定款および諸規則ならびに現体制においては、議案は常任役員会で役員会への上程の可否を検討の上、議決権のある役員を経て役員会に提案する形になっているが、実質的には専任委員も提案件があることが説明された。

7. 監事講評（11:07～11:16）

鈴木監事

- ・今回の議論を通じて、これまで行ってきたことを定款や規則に立ち戻って検討することの重要性を痛感した。
- ・昨日の夕食懇談会は良かった。
- ・ここ2～3回の役員会や役員研修会でワイズにおけるクリスチャニティーの問題が議論されるようになった。議論することは大変良いことと思う。わだかまりを持ったまま活動する方が危険と思う。相手をよく理解する、相手を受け入れるという姿勢が我々一人一人に求められている。クリスチャニティーの問題を大いに議論してワイズの活動のためにプラスになっていくことが望ましいと思う。

漆畑監事

規則には厳しい、しかし柔軟に対応して活動していくことが大切。今日の会議ではそれが端々に見えた。

8. 閉会式（11:16～11:25）

連絡事項： 山口副書記

YMCAの歌： 一同

閉会挨拶： 山田次期理事

- ・来年6月6日に十勝に来て欲しい。
- ・アジア太平洋地域大会への参加要請ならびに大会前ニュース配布。
- ・今後とも力を合わせて活動していきたい。

理事より：まだBF代表の登録をできない状態。先方の受け入れ日程が決まり次第諸般を連絡をする。

閉会点鐘： 宮内理事

【第3回東日本区役員会出席者】

[議決権保持者]（13名）

常任役員：

宮内理事、山田次期理事、栗本直前理事、板村書記、長谷川会計（計5名）

事業主任：

大久保地域奉仕・YMCA サービス事業主任、伊丹会増強事業主任、小原国際・交流事業主任、山本ユース事業主任（計4名）

部長：

二本松北海道部部长、廣瀬あずさ部部长、佐藤湘南・沖縄部部长、渡辺富士山部部长（計4名）

[役員会構成メンバー]（13名）

鈴木監事、漆畑監事、利根川文献・組織検討委員長、北村LT委員長、高田JEF運営委員長、井上ワイズメネット委員長、辻東日本区定款改訂委員長、仙洞田ヒストリアン、渡辺広報・伝達（PR）専任委員、山田公平スペシャルアドバイザー、山口副書記、小山東日本区事務所所長、光永担当主事

[オブザーバー]（13名）

田中アジア太平洋地域会長、山下次期書記、増中次期会計、片山次期地域奉仕・YMCA サービス事業主任、札埜次期会増強事業主任、鈴木次期北東部部长、小川次期東新部部长、赤羽次期あずさ部部长、森田次期湘南・沖縄部部长、長田次期富士山部部长、澁谷次期ワイズメネット委員長、相川次期副会計、酒向次期福会計

【第3回東日本区役員会欠席者】

涌澤北東部部长、衣笠関東東部部长、神保東新部部长

議事録署名人

次期理事

山田 敏明

議事録署名人

文献・組織検討委員会委員長

利根川 恵子

2018-2019 年度
第 4 回役員会議事録

日時：2019 年 5 月 31 日（金）15 時 15 分～16 時
35 分

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟 404 号室

出席者：27 名（議決権者 16 名中 15 名）

記録：東日本区書記 板村哲也

1. 開会式（15:15～15:22）

開会点鐘： 宮内友弥理事

ワイズソング、ワイズの信条： 一同

開会挨拶： 宮内友弥理事

- ・あつという間に 11 か月が経過した。その間「為せば、成る」を掲げてきた。皆さまのご協力でここまで来られたことに対し改めてお礼を申し上げます。残りの 1 か月間で次期理事にスムーズに引き渡しをしたい。
- ・本年度最後の役員会よろしく願います。
- ・アジア太平洋地域大会への参加をよろしく願います。

出席者確認： 板村書記
会議開始時点での議決権者 14 名、議案審議前の議決権者 15 名。

議長

宮内理事（東日本区定款第 8 条第 2 項の定めによる）

役員会成立の宣言

議長は本役員会が定足数を満たし有効に成立したことを宣言した。

議事録署名人選出

立候補者なし。議長は山田次期理事と利根川文献・組織検討委員会委員長を議事録署名人

に指名し賛同を得た。

注：会議進行の手違いで出席者確認、役員会成立の宣言、議事録署名人選出は 2. ⑤の後に実施)

連絡事項：

山口副書記

2. 区活動報告（15:22～15:42）

①東日区の現状（宮内理事）

- ・年次代議員会年次報告書には第 3 回役員会以降のことを追記した。本日の第 2 号議案が承認されれば年次代議員会および区大会で報告する。報告は、1 年間の活動状況の詳細については報告書を見てもらうこととし、この 1 年間にできたこと、できなかったこととその背景、また今後重要案件として引き続きフォローしなければならないことを中心に行う。
- ・第 3 回役員会後国際協会より BF 代表募集の正式連絡が有り、それを区の会員に伝えたが結果として東日本区からの応募はなかった。

②監査報告（鈴木監事）

行政監査報告書が読み上げられた。

③地域奉仕・YMCA サービス事業および IT アドバイザー（大久保事業主任）

- ・事業主任として何かやれるのかということに疑問を持った 1 年であった。
- ・クラブの活動、部の活動のニュースの配信を推進した。
- ・IT アドバイザーとしては、Web site で 40 を超えるクラブのブリテンの掲示を順調に行うことができた。
- ・Web site のトップ頁に EMC の情報の提供ができればと思う。
- ・第 3 回役員会で承認された人財データベースの準備を進めたい。

④会員増強事業（伊丹事業主任）

- ・横浜つるみクラブ 3 月 17 日設立総会、6 月 16 日チャーターナイト。
- ・第 2 回役員会で取り進めが承認された「2022 年をゴールとする中期会員増強運動」の名称が「Change! 2022」（応募者：清水弘一ワイズ）と決定した。区大会で発表・表彰する。

⑤国際・交流事業（小原事業主任）

- ・IBC クアッドラングル：
 - 5月3日札幌富士山部国際・交流事業主査がフィリピンのマニラダウンタウンクラブを訪問、クアッドラングル締結が決定した。7月のアジア太平洋地域大会（於仙台）で締結式を行う予定。
 - ・各種献金：献金ゼロクラブは6クラブとなった。しかし献金額は残念ながら昨年より35万円減となった。
 - ・次期はRBMなどのアピールで挽回したい。
- ⑥ユース事業（山本事業主任）
- ・年次代議員会年次報告書（7頁）を用い、前回役員会以降のことについて報告が行われた。
 - ・訂正：本文6行目のIYC参加の女性3人の名前の後に「さん」を追加する。
 - ・STEP留学生（パハニさん）は4月23日無事帰国した。帰国前にスリランカでテロ事件があり、事件の現場とパハニさんの居住地が近かったがパハニさん及び家族に被害はなかった。
 - ・オープンフォーラムYが5月25日にオリンピックセンターで開催された。参加者は14名。
 - ・AYC（於：アジア太平洋地域大会 7月17日～21日）
 - 東日本区から5名、西日本区から4名参加の予定。明日代議員会の際に各会長に参加者の最終確認をする。

3. 各部活動報告（15:42～15:47）

- ①北海道部（二本松部長）
- ・十勝の山菜例会を盛大に実施した。
- ②北東部（涌澤部長）
- ・年次代議員会年次報告書9頁：タイトル訂正（20198→2019）
 - ・有意義な部長活動ができた。
- ③関東東部（衣笠部長）
- ・年次代議員会年次報告書10頁：タイトル訂正（20198→2019）
 - ・第3回役員会後の状況として、関東東部第3回評議会と川越クラブ20周年記念例会につき報告が行われた。
- ④東新部（神保部長）
- ・年次代議員会年次報告書11頁：タイトル訂正（20198→2019）

- ・部内に新しいクラブ（東京町田スマイリングクラブ）ができた。
- ・BF代表で比奈地ワイズがウガンダ訪問。その報告会を実施。

⑤あずさ部（廣瀬部長）

- ・年次代議員会年次報告書12頁：タイトル訂正（20198→2019）
- ・部長欠席にて報告は年次代議員会年次報告書の通り。

⑥湘南・沖縄部（佐藤部長）

- ・この時点で佐藤部長未到着。報告は年次代議員会年次報告書に記載の通り。

⑦富士山部（渡邊部長）

- ・EMCで2クラブ設立予定だが次期になる。なるべく早く立ち上げたい。

4. 委員会・専任委員等活動報告

（15:47～16:04）

①文献・組織検討委員会（利根川委員長）

- ・前回役員会後に文献・組織検討委員会を開催し、下記につき表現が変更となった。年次代議員会年次報告書（15頁）項目「ウ」の本文5行目に「・・・4事業委員会規則の作成については今後の継続審議が必要という意見が有りますので・・・」と報告したが、第5回文献・組織検討委員会で、規則を見直すのではなく、事業主任の手引きが存在するが活用されていないこと及び内容がかなり古くなっていることより、事業主任の手引きをLT委員会で手直ししてもらうことで来年度に引き継ぐこととなった。

②LT委員会（北村委員長）

- ・今年度はEMCを研修会の中でも強く取り上げた。
- ・会長研修会はオリンピックセンターで実施した。西日本区の森田恵三ワイズ（西日本区将来構想特別委員会委員長、日本区第38代理事）に長期的なEMCを念頭に基調講演をお願いした。会長にEMCがいかに重要かを認識して頂いた。
- ・最近の研修方法は研修実施者からの一方通行ではなく、参加者からの発言もある双方向的な研修が多くなっている。
- ・東日本区の種々のマニュアルの整備を行

っている。クラブ運営マニュアル、部事業主査の手引き、部長マニュアルを順次準備中。これらは後日文献・組織検討委員会で検討頂く。

③JEF 運営委員会（高田委員長）

- ・年次代議員会年次報告書 17 頁に記載の通り。
- ・5月15日に第2回JFE委員会を開催し下記の話をした。
- JEF委員会の立場につき議論した。JEFは会員に直接働きかけ、内容を知らしめる必要があるが、知らしめる機会がない。
- 過日の次期会長・部役員研修会に出席し、晚餐会の機会に知らしめた。
- 今後研修会に織り込んだり、区大会で表彰するなどしたい。
- JEFは資金の使途に責任を持つだけでなく、プロモーションの責任もあることを話し合った。

④ワイズメネット委員会（井上委員長）

- 年次代議員会年次報告書の原稿提出後の数字の変更につき下記の通り報告があった。
- ・仙台広瀬川クラブのエプロンシアター：の作品は今日までで6作品完成となった。
- ・献金状況：絵本を贈る活動：YMCA関係41施設に各4冊を寄贈できるようになった。
- ・国際プロジェクト関係：5月13日に国際プロジェクト支援金89,000円を送金。また国際登録費として19,600円を送金した。
- ・6月1日の区大会のワイズメネットアワールの参加者は27名となった。

⑤YMCA リエゾン（山田公平スペシャルアドバイザー）

- ・年次代議員会年次報告書 23 頁に記載の通り。
- ・パートナーシップ委員会で提案された事項5件につき強調説明が行われた。なお、今年からの新しい動きとしてWorld Challenge が加わった。

⑥東日本大震災支援対策本部（宮内本部

長）

- ・年次代議員会年次報告書 24 頁に記載の通り。支出の主な内容は歌のプレゼント関係で現地に出向かれたことに対する補助。

- ・5月15日現在の残高683,622円。

⑦東日本区定款改訂委員会（辻委員長）

- ・第3回役員会で最終報告を行った。本年度最後の役員会として、再度同じ報告を掲載した。新たな報告事項はない。
- ・委員会の任務は名実ともに既に終了している。定款は既に発効している。
- ・定款は何か問題がある時などのために、特に役員には何処に何が書いてあるかを把握しておいて頂きたい。

⑧ヒストリアン（仙洞田ヒストリアン）

- ・ヒストリアン欠席にて報告は年次代議員会年次報告書 26 頁に記載の通り。

⑨YMCA（光永東日本区連絡主事）

- ・関係行事については毎月理事通信で簡単に報告している。年次代議員会年次報告書 27 頁には年間のトピックス 6 件を掲載した。
- ・明日（6月1日）担当主事の会を予定。20数名が参加予定。パートナーシップ、担当主事のマニュアル、西日本区連絡主事のマニュアルを統合することを検討している。

西日本区では連絡主事という表現を使用しているが、担当主事に統一する方向で検討しており、西日本区で承認されれば東西とも担当主事となる。

（注：上記報告の後、佐藤湘南沖縄部長到着、議決権者が15名となる）

5. 議案審議（16:04～16:29）

議長

議長は自分が議案の提案者となっている案件が数件あるが自分の身分に関わる提案はないので議長を務める旨を伝え賛同を得た。

この時点での出席議決権者：16名中15名。

採決方法：挙手

第1号議案「2018-2019年度第3回役員会議事録承認の件」

提出案を下記の通り修正。

冒頭に記載の出席者数：38名→39名

冒頭に記載の議決権者：16名中12名→16名中13名。

末尾の出席者名簿の部長出席者：廣瀬あずさ部部長を追加。

末尾の出席者名簿の部長出席者数：計3名→計4名

質疑応答はなく、議長が提出案に上記の修正を行うことで本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（15名）の賛成をもって、承認された。

第2号議案「2018-2019年度東日本区年次報告および行政監査報告の件」

年次報告及び行政監査報告は冒頭の区活動報告で報告の通り。

誤植訂正：項目Ⅶ本文1行目：「東京町田スマイルリングクラブ」→「東京町田スマイルリングクラブ」

質疑応答はなく、議長が提出案に上記の修正を行うことで本議案の賛否を諮ったところ、出席者全員（15名）の賛成をもって、承認された。

第3号議案「YES活動支援支給規定の見直しの件」

議長の指名により、伊丹会員増強事業主任が議案書に基づき説明を行った。

第3回役員会で同じ議案を提出したが、裏付け資料が無く、明確な説明ができなかった。このため第4回役員会に再提出するもの。

<質疑応答>

質問1：横浜つるみクラブのように、部がスポンサーとなった場合は、部に支援金が支払われるのか。

回答1：そうなる。今後作成する規定に盛り込むこととなる。

質問2：横浜つるみクラブの場合今回の改訂案は適用されるのか。

回答2：過渡期で新旧いずれの規定も適用となるが、結果として10万円は支払われる。

提案：改訂案の「妥当と判断した場合、」を削除してはどうか。

質疑応答の後議長が改訂案の「妥当と判断した場合、」を削除することを諮ったところ、出席者全員の賛成をもって承認され

た。承認結果は下記の通り。

支給時期及び支給額：

設立総会時に、1新設クラブあたり10万円を支給する。

第4号議案「郵便による臨時代議員会実施の件」

議長が議案書に基づき説明を行った。質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者15名中14名の賛成をもって、原案どおり承認された。

臨時代議員会の議案：「2018-2019年度東日本区会計決算・監査報告の件」

6. 監事講評（16:29～16:30）

鈴木監事

- ・監査報告書は本来今日の役員会を見てから書くべきものであるが、書き換えの必要はない。

7. 閉会式（16:30～16:35）

YMCAの歌：

一同

閉会挨拶：

山田次期理事

- ・1年間お世話になった。
- ・これからまた1年間熱い心を持って頑張って行きたい。
- ・役員を終わられる方もワイズの熱い心を持って頑張っていたきたい。

閉会点鐘：

宮内理事

8. その他

- ・役員会終了後16時30分～18時00分の間404号室にて部長の、また412号室にて事業主任、ワイズメネット委員長の区大会の報告のリハーサルを行う。

【第4回東日本区役員会出席者】

〔議決権保持者〕（15名）

常任役員：

宮内理事、山田次期理事、栗本直前理事、板村書記、長谷川会計（計5名）

事業主任：

大久保地域奉仕・YMCAサービス事業主任、伊丹会増強事業主任、小原国際・交流事業主任、山本ユース事業主任（計4名）

部長：

二本松北海道部部長、涌澤北東部部長、衣

笠関東東部部長、神保東新部部長、佐藤湘南・沖縄部部長、渡辺富士山部部長（計6名）

〔役員会構成メンバー〕（11名）

鈴木監事、利根川文献・組織検討委員長、北村LT委員長、高田JEF運営委員長、井上ワイズメネット委員長、辻東日本区定款改訂委員長、渡辺広報・伝達（PR）専任委員、光永YMCA担当主事、山田公平スペシャルアドバイザー、山口副書記、小山東日本区事務所所長

〔オブザーバー〕（1名）

増中次期会計

【第4回東日本区役員会欠席者】

廣瀬あずさ部部長

議事録署名人

次期理事

山田 敏明

議事録署名人

文献・組織検討委員会委員長

利根川 恵子

2018-2019 年度
郵便による臨時代議員会報告

2017-2018 年度年次代議員会（2018 年 6 月 2 日）で郵便による代議員会で決議を行うことが承認された下記 3 件につき、郵便による代議員会（2018 年 8 月 1 日～20 日）を行った結果、代議員 73 名の内 54 名が投票し定足数（48 名）に達し、3 議案すべて賛成多数で承認されました。

第 1 号議案：2017-2018 年度東日本区会計決算報告および会計監査報告承認の件

第 2 号議案：東日本区定款一部修正の件
（注：修正定款の公式発効日は、国際議会での正式承認日となる）

第 3 号議案：次々期理事候補者の指名について
板村 哲也さん（東京武蔵野多摩）

2018-2019 年度
年次代議員会議事録

日時：2019 年 6 月 1 日（土）10 時 00 分～11 時 07 分

場所：国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟 401 号室

出席者：56 名（出席者 48 名、委任状 8 名、計 56 名）

記録：東日本区書記 板村哲也

開会式

- ・開会点鐘： 宮内友弥理事
- ・ワイズソング、ワイズの信条： 一同
- ・開会祈祷： 長谷川あや子会計
- ・開会挨拶： 宮内友弥理事
- ・定足数確認： 板村哲也書記
代議員定数 73 名、定足数 49 名、出席代議員 47 名、委任状 8 名、計 55 名で定足数を満たしていることを確認した。
- ・成立宣言： 宮内友弥理事
- ・プログラム、議案書の訂正、資料（行政監査報告）の追加： 板村哲也書記
- ・議長： 伊藤幾夫東新部直前部長
伊藤幾夫（東京多摩みなみクラブ）東新部直前部長が東日本区定款第 6 条第 11 項の規定により、本代議員会の議長を務める旨を述べた。
- ・採決方法： 挙手

議案審議

第 1 号議案「2018-19 年度東日本区年次報告および行政監査報告」

（提案者：宮内友弥理事）

議長の指名により、宮内理事が議案書に基づき説明を行った。

- ・後期の重点課題として下記を取り上げた。
 - 組織の在り方検討：法人化再検討
 - 外部への広報活動：認知度の向上、SNS の活用
- ・達成目標：各種献金は概ね順調に推移。ただし献金の総額は昨年より 35 万円減少した。最大の原因は会員数の減少。この課題を次期に引き継ぎたい。
- ・献金ゼロクラブ：本年度は 6 クラブとなり改善が見られた。

- ・IBC/DBC：DBC トライアングル締結のみで目標に届かず。内外クラブとの交流の楽しさを今一度見直して欲しい。7月のアジア太平洋地域大会でクアドラングル締結式が行われると聞いている。
- ・新クラブ設立：東京町田スマイリングクラブ 2月24日チャーター。横浜つるみクラブ 3月17日設立総会、6月16日チャーター予定。
- ・国際憲法の改正（クラブ設立時のメンバー数15名を緩和）、ポータルバズ採用による認証状の発行手続き時間の短縮により、今後年間に3～4クラブを設立することが夢ではなくなった。
- ・JEF：54万円となり、目標の50万円をクリア。
- ・会員数：2019年1月1日現在6名増。前期920名、後期980名でスタートし最終的に1,000名を目指していたので厳しい状況。5月15日現在で新入会者43名、退会者19名（内逝去7名）、実質24名の純増。問題克服には新クラブの設立が求められる。
- ・今後取り組むべき最優先課題：
 - 法人化再検討の推進：第3回文献・組織検討委員会で法人化再検討のため小委員会の設置を提案し、設置が認められた。当面は7名の委員で文献・組織検討委員会の中の小委員会として活動を行う。
 - 外部への広報活動（認知度の向上、SNSの活用）：会員増強推進運動に組み込み、その中で活用を推進したい。

続いて鈴木監事が行政監査報告を行った。

（注：この時点で出席代議員が48名となった）
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者の多数の賛成をもって、原案どおり承認された。

第2号議案「2018-2019年度東日本区会計中間決算および監査報告の件」

（提案者：宮内友弥理事）

議長の指名により、宮内理事が議案書に基づき説明を行った。続いて宮内理事の指示により長谷川会計が決算内容につき説明を行った。また漆畑監事が監査報告を行った。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者の多数の賛成をもって、原案どおり承認された。

第3号議案「次年度の理事、次期理事、次々期理事および監事の各候補者の指名の件」

（提案者：栗本治郎直前理事）

議長の指名により、栗本直前理事が議案書に基づき説明を行った。なお審議対象の候補者2名は議案審議中一時退室した。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、賛成多数で原案どおり承認された。

次期理事

山田敏明（十勝）（2019-2020年度理事）

次年度の次期理事（2020-2021年度理事）

板村哲也（東京武蔵野多摩）

次年度の次々期理事（2021-2022年度理事）

大久保知宏（宇都宮）

次期監事（2019-2020年度監事）

漆畑義彦（富士） 継続

辻剛（横浜つづき）

第4号議案「第24回東日本区大会ホストクラブ立候補の件」

（提案者：宮内友弥理事）

議長の指名により、宮内理事が議案書に基づき説明を行った。続いて宮内理事の指示により第24回区大会を主宰する予定の板村哲也次々期理事が補足説明を行った。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者の多数の賛成をもって、原案どおり承認された。

ホストクラブ：甲府21クラブ

第5号議案「2019-2020年度東日本区理事方針の件」

（提案者：山田敏明次期理事）

議長の指名により、山田次期理事が議案書に基づき説明を行った。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者の多数の賛成をもって、原案どおり承認された。

第6号議案「2019-2020年度東日本区役員承認の件」

（提案者：山田敏明次期理事）

議長の指名により、山田次期理事が議案書に基づき説明を行った。また、特別委員会に（仮）会員増強推進委員会（委員長：栗本直前理事）を追加することおよび委員会の正式名称が明日発表され、明日以降この名称が有効となることが伝えられた。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者の多数の賛成をもって、原案どおり承認された。

第7号議案「2019-2020年度東日本区予算の件」

(提案者：山田敏明次期理事)

議長の指名により、山田次期理事が議案書に基づき説明を行った。さらに増中次期会計より追加説明が行われた。

<質疑応答>

質問1：収入の部のユース活動費 360,000 円の算出根拠は何か。

回答1：ユース事業委員会から出されたもので、YVLF 以外の事業。

質問2：前期繰越金 9,417,508 円は何か。

回答2：2017年度の決算時の次期繰越金。予算作成時期（2019年3月頃、2018年度の間決算がまだ出ていない段階）の関係によるもの。また2018-2019年度は会計処理方法の変更があり、従来ユース事業委員会の会計であったものを区の本会計に入れたため繰越金の額が高額となっている。

質問3：今年度の決算はこの金額と異なるのか。

回答3：変わる。予算は前年度を参考にして立てることになっており、且つあくまでも予算であるので見込としてこの額とした。

質問4：支出の部の YVLF1,500,000 円の算出根拠は何か。来年度の国際大会（於デンマーク）では一人当たりどれくらい出るのか。

回答4：2018-2019年度中に決まることになっているが未定。6月中に出て来ると思われる。

質問5：Facebook 導入にかかわる費用はどうなるのか。

回答5：15,000円/クラブと考えているがクラブの事情によっては安価になることもありうる。また Facebook による広告も考えている。これらについては JEF の資金を使用させてもらうことを考えているので区会計の予算上には出てこない。

質問6：支出の部のヤングメンバー補助金が来年度予算で「0」となっているが、なくなるということか。

回答6：この制度の効果が無いので、今年度を以て補助制度を終了することになっている。

質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者の多数の賛成をもって、原案どおり承認された。

第8号議案「郵便による臨時代議員会実施の件」

(提案者：宮内友弥理事)

議長の指名により、宮内理事が議案書に基づき説明を行った。

質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者の多数の賛成をもって、原案どおり承認された。

臨時代議員会の議案：「2018-2019年度東日本区会計決算・監査報告の件」

その他（報告：板村書記）

来年度の年次代議員会の議長は2018-2019年度第3回役員会の折の部長の互選により、二本松北海道部長と決定した。

閉会式

- ・閉会挨拶： 山田次期理事
- ・閉会点鐘： 宮内理事

【配布資料】

- ・2018-2019年度年次代議員会議案書
- ・2018-2019年度年次代議員会年次報告書
- ・2018-2019年度行政監査報告

2018-2019年度 行政監査報告

2018-2019年度の東日本区は宮内友弥理事の陣頭指揮のもと、全体として秩序正しく順調な組織運営が行なわれてきました。特に区役員会、常任役員会、各種研修会等では毎回真剣な協議、審議が重ねられ、ワイズ運営の改善に貢献したものと考えられます。

宮内年度が直前の栗本年度から引き継いだ最大の課題である”Extension”に関しては、「東京町田スマイリングワイズメンズクラブ」のチャーター（2月24日、会員11名）、及び「(仮)横浜つるみワイズメンズクラブ」の設立総会（3月17日、会員9名）の実現が評価できる成果と考えられます（5月31日現在）。さらに、①各部に「エクステンション委員会」が設置されたこと、②区役員会において「2022年をゴールとする中期会員増強運動の推進」が決定されたこと、③関東東部・あずさ部等においても、新クラブ設立の準備が進められていることなど、区全体として会員増強意識が高まってきたことは、特筆すべき成果と思われまます。

こうした会員増強運動に関連して、最近区の役員会や研修会で、クラブ例会等における「クリスチャン・カラー」の在り方についての議論が活発化しています。ワイズの中でこうした話題が気兼ねやわだかまりなく活発に議論することは、ワイズの将来のためにも大いに歓迎すべきことと考えられます。ただ現在問題になっているのは、クラブ例会等における礼拝儀式的なクリスチャン・カラーの在り方であって、宮内理事が基本方針に掲げるワイズのアイデンティティーとしての「キリストの愛の精神」を批判し、問題視するものではないことに留意すべきと考えます。因みに、宮内理事がワイズの理念としてのクリスチャニティーを理事方針に掲げられたことは、画期的なこととして評価できることと思われまます。

最後に監事として、区の各種会議に出席して痛感することは、区の役員クラスと各クラブの一般会員との間に、かなり大きなワイズ意識のレベル格差、温度差が感じられることであります。これはいつの時代でも有り得ることではありますが、ワイズのさらなる発展のためには、この温度差を一段と縮める努力が求められます。各クラブにおける部・区大会や地域・国際大会への出席勧誘を熱心に行なうことも一つの方法と考えられます。また先般実施した「クラブEMCアンケート」の結果が各クラブに適切にフィードバックされ、一般のクラブ会員と区・部役員との十分な意思疎通が図られることを期待したいと思います。

2019年5月31日

2018-2019年度

監事 鈴木 茂 

監事 漆畑 義彦 

ワイズメンズクラブ国際協会 第22回東日本区大会

ワイズメンズクラブ国際協会第22回東日本区大会を下記の通り開催致しました。

日本の首都で大会、諸会議、晩餐会、宿泊のすべてを一か所で経済的に実施するという催しで、一部制約はありましたが、皆さまのご理解とご協力で成功裡に終えることが出来ました。

ご参加下さいました皆さま、準備と大会当日にさまざまな奉仕をして下さいました皆さま、そして日頃よりワイズダムの発展にご奉仕頂いている皆さまに心より感謝申し上げます。

理事 宮内友弥

日時：2018年6月1日（土）～6月2日（日）
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
テーマ：「つなごう平和への道しるべ」
主宰：東日本区理事 宮内友弥
ホストクラブ：東京サンライズクラブ
協力クラブ：あずさ部各クラブ
参加者：384名（森氏夫妻を含む）

【5月31日（金）】

第22回東日本区理事杯ゴルフコンペ

場所：若洲ゴルフリンクス
参加者：18名（5組）
結果：優勝：市崎俊一（東京江東）
準優勝：山崎常久（東京江東）
3位：江野幡 隆夫（一般ゲスト）
ベストグロ：江野幡 隆夫

第4回東日本区役員会

場所：センター棟4階404
出席：27名
前夜祭
場所：センター棟2階フレンズ

【6月1日（土）】

年次代議員会

場所：センター棟4階401
出席：56名（委任状8名を含む）
メネットアワー
場所：センター棟5階502
カルチャー棟2階レストラン「とき」
出席者：31名



担当主事会

場所：センター棟5階510
出席者：16名



フレッシュワイズの集い

場所：センター棟5階512
出席者：13名



新たな試みとしてワイズに入会して間もないメンバー（入会3年目くらい迄）を対象にワイズの歴史や、組織などについてわかりやすく説明しました。

【東日本区大会】

場所：カルチャー棟大ホール
オープニングセレモニー
出演：バトントワーリング「TWIRL i(トワルアイ)」



しなやかで明るく若々しい演技を披露して頂き、元気と活動のパワーを頂きました。

バナーセレモニー

今年度チャーターされた東京町田スマイリングクラブ（東新部）が加わり、7部60クラブです。



開会式

司会：大谷博愛、長津絹子

開会宣言・点鐘：

東日本区理事：宮内友弥

ワイズソング：一同

ワイズの信条：一同

聖書朗読・開会祈祷

高田一彦（千葉）

歓迎の言葉

ホストクラブ会長

大谷博愛

来賓挨拶

アジア太平洋地域会長

田中博之様（東京多摩みなみ）

日本 YMCA 同盟総主事

神崎清一様

西日本区理事

遠藤通寛様（大阪泉北）

メモリアルアワー

昨年の沼津大会以降に亡くなられた 12 名のワイズを偲び、黙祷を捧げました。

東日本区アワー 1

司会：東日本区書記 板村哲也

理事年次報告

東日本区理事 宮内友弥



年次代議員会報告

議長（東新部直前部長）伊藤幾夫（東京多摩みなみ）

部長報告

奈良傳賞授賞式（2名）



大澤英二様（甲府）



十河弘様（宇都宮）
（代理受領）

記念講演

講師：森 重昭氏

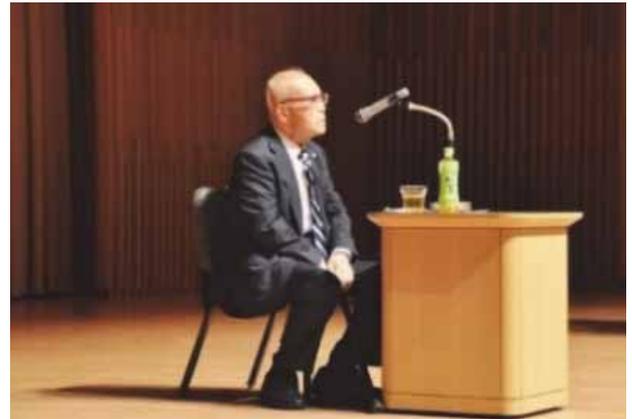
演題：「もう一つのヒロシマ、
灯籠流し」

上映：「灯籠流し」

ドキュメンタリー映画「灯籠流し」の上映と講演を行いました。混沌としてきた世界情勢を考えると、「平和」について考えることができた大変貴重な時間でした。



写真（共同＝ロイター）



晩餐会

ゲスト紹介、新クラブ紹介、アピールなどが行われました。





フェローシップアワー

【6月2日(日)】

早朝散歩

日曜礼拝

東日本区アワー 2

司会：東日本区書記 板村哲也

震災・災害報告

報告：清水弘一（石巻広域）

事業主任報告・事業表彰

地域奉仕・Yサ事業

大久保知宏事業主任（宇都宮）

会員増強事業

伊丹一之事業主任（東京むかで）

国際・交流事業

小原史奈子事業主任（東京たんぽぽ）

ユース事業

山本剛史郎事業主任（川越）

ワイズメネット事業

井上優子事業委員長（もりおか）

全献金達成クラブ表彰

長谷川あや子東日本区会計（東京八王子）

理事表彰

宮内友弥理事

理事・役員引継式

司会：アジア太平洋地域会長 田中博之

司式：元国際会長 青木一芳

司式者挨拶 青木一芳

次期理事紹介 田中博之

式辞 青木一芳

新理事宣誓 山田敏明

理事バッジ、

メダリオン着装

宮内友弥理事→

山田敏明新理事

役員バッジ着装

役員→新役員

東日本区旗引渡し

宮内友弥理事→山田敏明新理事

理事ホームクラブ旗引渡し

東京武蔵野多摩→十勝



新理事所信表明

山田敏明新理事

新役員紹介

山田敏明新理事

感謝ギャベル贈呈

青木一芳→宮内友弥

理事挨拶・感謝

宮内友弥理事



閉会式

時間：12:00～12:40

場所：カルチャー棟大ホール

司会：大谷博愛、小山久恵

日本 YMCA 同盟より感謝状

神崎清一総主事→宮内友弥理事

東日本区大会旗引継ぎ

東京サンライズクラブ→十勝クラブ

ホストクラブへのお礼

宮内友弥 東日本区理事

大会実行委員会委員長挨拶

長津徹（東京サンライズ）

YMCA の歌

一同

閉会点鐘

東日本区理事 宮内友弥



第22回東日本区大会決算報告

本年度の区大会は、予算で計上した登録管理費を自前で行う等実行委員会全員の努力により、多額の余剰金を確保できました。又余剰金献金先については、台風19号・15号の被災地支援へのタイムリーな献金を含め次の3件とさせていただきます。

- ・ JEF への献金 ¥220,000
- ・ 東京 YMCA リーダー養成支援金 ¥300,000
- ・ 日本 YMCA ポジティブ YMCA 募金 ¥531,900(台風19号・15号被災地支援)

第22回東日本区大会決算

収入		予算	決算	備考
	登録費	5,200,000	4,953,000	381人、登録費13000円
	前夜祭		265,000	5000円×53人
	フェロシップアワー		228,000	3000円×76人
	宿泊		727,120	朝食含む
	区より補助金	425,000	430,000	860人、@500円
	寄付		12,000	
	借入金	500,000	500,000	区より借り入れ
収入計		6,125,000	7,115,120	

支出(400人)		予算	決算	備考
晩餐会		2,600,000	2,502,500	単価6500円×385人
会場費	計	409,000	409,800	
	大ホール・会議室など	304,000	312,900	
	レセプションホール	105,000	96,900	晩餐会
宿泊費			774,790	朝食含む
前夜祭			265,000	5000円×53人
フェロシップアワー			228,000	3000円×76人
支出1小計		3,009,000	4,180,090	
登録管理費		500,000	0	
印刷費	計	270,000	186,953	
	案内チラシ	80,000	15,200	
	当日プログラム	150,000	122,000	
	チラシ	10,000	7,960	当日配布チラシなど
	名札、封筒、配布物など	30,000	41,793	区事務所で印刷
事務局費	計	465,000	335,857	
	会議費	50,000	68,020	事前打ち合わせ、反省会
	部屋代	10,000	0	
	弁当代	50,000	60,000	昼食(実行委員会・会場手伝い)
	茶菓代	5,000	1,948	お茶など(")
	ユニフォーム	100,000	128,520	1500円×80人
	実行委員宿泊費など	50,000	0	
	ボランティア関係費	120,000	50,000	交通費、食費など
	資料代	20,000	0	
	振り込み手数料	30,000	3,888	
	事務局雑費	20,000	8,541	文具、森さん手土産
	駐車場代など	10,000	14,940	駐車場代、運搬費

プログラム費	計	660,000	667,740	
	オープニングセレモニー	20,000	50,000	バトントワラー
	スピーカー謝礼	50,000	50,000	
	牧師、奏楽者	0	30,000	
	ピアノ	20,000	0	会場費に含む
	晩餐会出演者	50,000	0	
	森さん(講演者)関係費	0	112,704	交通費、食事代など
	音響担当者	0	10,000	交通費など
	看板など	80,000	17,327	上り棒など
	音響等備品	100,000	2,730	
	生花	20,000	30,000	
	通信機材		31,926	インカム(レンタル)
	記念品	300,000	263,502	一筆箋、月餅
	参加者保険代		34,300	全員
	参加者用お茶	20,000	35,251	
広報費	計	295,000	72,680	
	部会等訪問	100,000	0	
	ホームページ作成	100,000	35,000	
	アピールグッズ	75,000	15,000	缶バッジ
	アピール用横断幕	0	22,680	
	記録用ビデオなど	20,000	0	
通信費	計	150,000	119,900	
	案内発送(1000)	100,000	92,000	単価92円
	申込確認はがき(400)	25,000	27,900	単価62円
	お礼状	25,000	0	
借入金		500,000	500,000	区へ返済
予備費	計	100,000	0	
支出2小計		2,940,000	1,883,130	
全支出合計		5,949,000	6,063,220	
収支差		176,000	1,051,900	

以上、ご報告いたします。

2019年6月30日

2018-2019年度東日本区理事 宮内友弥 様

第22回東日本区大会実行委員長 長津 徹

2018-2019 年度 東日本区表彰一覧

理事表彰

東日本区奈良傳賞

大澤 英二さん（甲府クラブ 1933 年 10 月 14 日生まれ 85 歳）

1960 年ワイズ入会以来、長年にわたり山梨 YMCA と山梨県内のワイズメンズクラブに献身的な働きをしてこられました。又山梨県の青少年教育、福祉分野において指導的役割を果たして来られました。地域社会に YMCA とワイズメンズクラブの認知度を高めた功績は大きく、このことにより多くのワイズメンズクラブ入会者がありました。

富士五湖クラブ(2003 年設立)、長野クラブ(2010 年設立)の設立に、故平原ワイズと共に尽力され、あずさ部の会員増強にも貢献されました。

十河 弘さん（宇都宮クラブ 1935 年 1 月 3 日生まれ 84 歳）

1979 年宇都宮クラブチャーターメンバーとして入会、北東部初代部長を務められ宇都宮東、宇都宮 Y3 のチャーターに尽力された他東日本区 IT アドバイザーとして区の IT 化に尽力されました。また 1978 年には財団法人とちぎ YMCA 理事に就任され、2000 年には日本 YMCA 同盟の監事に就任される等 YMCA にも尽くして来られました。

宇都宮クラブでは、クラブホームページの管理と国際担当として IBC との国際交流の維持、発展に貢献。心臓手術、腰椎手術後も例会、奉仕活動に積極的に参加されメンバーの範となる方です。

最優秀クラブ賞

千葉クラブ

地道に障害者や青少年への支援を中心に船橋地区における千葉YMCAと共働。地域に密着した奉仕活動が実を結び、クラブ活性化に繋がりメンバーの年齢構成もベテラン7人に加え、50代前半が5人とバランスの良いクラブの姿を実現されました。又この勢いで現在新クラブ設立に向けてクラブを挙げて活動されています。

優秀クラブ賞

三島クラブ

地域社会全体の求めに応じる奉仕の実践に心がけ、本年度も市民や子供たちとの触れ合いを通して、活力溢れる心のこもった活動を展開。またCS・ファンド事業として伝統の「三島クラブ農園」を継続して運営されました。

会員増強についてもEMC委員会主催の「ワイズ勉強会」を企画する等、地道な努力により若手も含め2名の増員に結びついています。

理事特別賞

甲府 21 クラブ

SNS活用の先駆けとしてクラブフェイスブックを駆使、Y、ワイズ関係者以外へのワイズの認知度向上に寄与すると共に、入会候補者開拓にも繋がっています。

ブリテン最優秀賞

札幌クラブ

毎号読み応えのある紙面作りで、特に北海道地域の魅力やその時々話題の事柄を取り上げ読者を楽しませてくれました。

地域奉仕事業表彰**地域奉仕活動特別賞**

東京多摩みなみクラブ

献金三部門で上位貢献。

ぽんぽこ農園など楽しい協働によるファンド活動を実践。

社会問題となっている子どもの貧困、食品ロスについて取り組むなど、年間を通して考え行動するクラブです。

YMCAサービス特別賞

茨城クラブ

ワイズの中の人財を活用したプログラムを実施。

所沢クラブの大澤和子さんを講師に迎え、現在の学童保育が抱える問題、ADHD を疑われる子への対処について、ソーシャルスキルトレーニング「ちょこっとチャット」やロールプレイングを通して学んでいただきました。

『ワイズはYMCAの「お兄ちゃん」へ!』

CS 献金貢献賞（一人当たり）

1位：東京たんぽぽ（2,119円）、2位：熱海（2,028円）、3位：東京サンライズ（1,893円）

CS 献金達成賞

北見、十勝、仙台、宇都宮、仙台青葉城、会津、宇都宮東、もりおか、仙台広瀬川、石巻広域、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、川越、東京、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、甲府21、東京八王子、富士五湖、横浜、鎌倉、横浜つづき、沼津、伊東、三島、熱海グローリー、御殿場、富士、富士宮（37クラブ）

年賀切手収集協力賞

1位 山田修司さん（熱海）130枚、2位 安田克己さん（熱海）113枚

もりおか、東京江東、東京、東京西、東京サンライズ、東京たんぽぽ、熱海（7クラブ）

ASF 献金貢献賞（一人当たり）

1位：東京多摩みなみ（792円）、2位：東京（536円）、3位：十勝（529円）

ASF 献金達成賞

もりおか、石巻広域、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、川越、東京むかで、東京世田谷、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府21、東京たんぽぽ、富士五湖、横浜、沖縄那覇、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、熱海グローリー、御殿場（26クラブ）

FF 献金貢献賞（一人当たり）

1位：熱海（1,000円）、2位：東京多摩みなみ（958円）、3位：東京（840円）

FF 献金達成賞

十勝、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、川越、東京むかで、東京世田谷、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府21、東京たんぽぽ、富士五湖、横浜、沖縄那覇、横浜つづき、沼津、伊東、熱海グローリー、御殿場（24クラブ）

会員増強事業表彰**EMC-E 部門**

新クラブ設立賞（期間内にチャーターしたクラブのスポンサークラブ）

東京町田スマイリングクラブ（2019年2月24日チャーターナイト）のスポンサークラブ

東京、東京町田コスモス、厚木

EMC-M 部門

最優秀賞（最も多くの新入会員を獲得したクラブ）

甲府 21 (6名)

優秀賞 (最優秀クラブに次いで新入会員を獲得したクラブ)

宇都宮 (4名)、仙台青葉城 (3名)、沖縄 (3名)

努力賞 (2名の新入会員を獲得したクラブ)

東京むかで、甲府、横浜とつか、三島

クラブ紹介パンフレット作製賞 (5/14 締切)

千葉 ((仮) 千葉ウエスト用)、東京グリーン、東京ひがし、東京むかで、東京多摩みなみ、東京武蔵野多摩、東京八王子、富士五湖、横浜つづき

EMC-C 部門

出席率最優秀賞 (100%) 東京たんぼぼ、熱海

出席率優秀賞 (90%以上) 東京多摩みなみ (98%)、三島 (97%)、東京むかで (94%)
横浜とつか (94%)、熱海グローリー (92%)、下田 (91%)

ノンドロップ賞 (退会者ゼロ)

北見、十勝、札幌北、仙台、前橋、仙台青葉城、足利、会津、宇都宮東、那須、もりおか、仙台広瀬川、石巻広域、埼玉、東京北、川越、東京ベイサイド、東京町田コスモス、東京センテニアル、東京多摩みなみ、松本、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぼぼ、富士五湖、沖縄那覇、横浜とつか、厚木、沼津、(29 クラブ)

グッドスタンディング賞 (会員 15 名以上達成)

仙台青葉城、千葉、

EMC 特別賞

東新部エクステンション委員長 太田勝人さん (東京町田スマイリング)

東京町田スマイリングクラブの設立に貢献、唯一のワイズ経験者として初代会長を務めた。

湘南・沖縄部および湘南・沖縄部エクステンション委員会

部がスポンサーとなり、エクステンション委員会が主導して (仮) 横浜つるみクラブ設立に貢献した。

「2022 年をゴールとする中期会員増強運動」のネーミング賞

【 Change! 2022 】を応募した清水弘一さん (石巻広域)

国際・交流事業表彰

BF 献金貢献賞 (一人当たり)

1 位 : 伊東 (4,500 円)、2 位 : 東京 (3,226 円)

BF 献金達成賞

北見、十勝、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、川越、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、東京たんぼぼ、富士五湖、横浜、横浜つづき、熱海、沼津、三島、熱海グローリー、御殿場、富士 (28 クラブ)

BF 使用済み切手収集優秀賞

1 位 : 仙台青葉城 (5,420 円)、2 位 : 仙台 (5,062 円)、3 位 : 横浜とつか (2,290 円)

BF 使用済み切手収集協力賞

もりおか、仙台広瀬川、千葉、所沢、川越、東京、東京多摩みなみ、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、東京八王子、東京たんぼぼ、富士五湖、長野、横浜、鎌倉、厚木、横浜つづき、熱海、沼津、三島、御殿場、富士 (24 クラブ)

TOF 献金貢献賞 (一人当たり)

1 位 : 横浜とつか (4,545 円)、2 位 : 東京多摩みなみ (2,454 円)、3 位 : 東京たんぼぼ (2,000 円)

TOF 献金達成賞

十勝、札幌北、仙台、宇都宮、仙台青葉城、会津、宇都宮東、仙台広瀬川、東京江東、千葉、

東京グリーン、東京北、所沢、東京ひがし、川越、東京むかで、東京世田谷、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、富士五湖、横浜、鎌倉、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、三島、熱海グローリー、御殿場、富士、富士宮（36 クラブ）

RBM 献金貢献賞（一人当たり）

1 位：東京ベイサイド（8,518 円）2 位：東京江東（3,333 円）3 位：東京たんぽぽ（1,300 円）

RBM 献金達成賞

十勝、宇都宮、宇都宮東、もりおか、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、東京ひがし、川越、東京、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、富士五湖、横浜、鎌倉、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、三島、熱海グローリー、御殿場、富士（32 クラブ）

YES 献金貢献賞（一人当たり）

1 位：東京多摩みなみ（1,542 円）2 位：東京グリーン（1,111 円）3 位：熱海（1,000 円）

YES 献金達成賞

十勝、東京江東、千葉、東京北、所沢、川越、東京むかで、東京世田谷、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぽぽ、富士五湖、横浜、横浜つづき、沼津、伊東、熱海グローリー、御殿場（22 クラブ）

DBC 締結賞（京都パレスクラブと DBC トライアングルを締結）

東京グリーン、熱海

ユース事業表彰

YIA 優秀賞

埼玉

毎回の例会にユースを招き、ユース支援とワイズメンズクラブ活動を紹介している。また 2018 年韓国・麗水 IYC にユースを派遣し、関東東部部大会「パネルディスカッション with Youth」というユニークな部大会のホストクラブとしてユース育成活動に貢献した。

YIA 推進賞（韓国・麗水の IYC にユース派遣クラブ）

宇都宮、埼玉、東京北、東京八王子、熱海

STEP 協力賞

粕田晴之（宇都宮）、山田公平（宇都宮）、宇田川敬司（東京江東）、青木義美（熱海）

ロースター広告協力賞

札幌、十勝、札幌北、仙台、宇都宮、仙台青葉城、那須、仙台広瀬川、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、川越、茨城、東京、東京むかで、東京世田谷、東京町田コスモス、東京センチナル、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、東京八王子、東京たんぽぽ、富士五湖、横浜、鎌倉、横浜とつか、厚木、横浜つづき、熱海、熱海グローリー、富士（36 クラブ）

ワイズメネット事業表彰

ワイズメネット委員会特別賞

東京クラブメネット会

設立 88 年の歴史あるクラブにあってメネット会主催のメネットナイト例会、バザー運営、メネット献金などの長年にわたる活動を評価し、ワイズ活動への貢献も大である。

全献金達成クラブ（献金事業 7 種全てを目標達成したクラブ）

十勝、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、川越、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、甲府、東京山手、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぽぽ、富士五湖、横浜、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、熱海グローリー、御殿場（25 クラブ）

2018-2019 東日本区役員および委員長等一覧

		役 職 名	氏 名	クラブ名
東日本区役員	常任役員	理事	宮内 友 弥	東京武蔵野多摩
		次期理事	山 田 敏 明	十勝
		直前理事	栗 本 治 郎	熱海
		書記	板 村 哲 也	東京武蔵野多摩
		会計	長谷川 あや子	東京八王子
	事業主任	地域奉仕・YMCA サービス事業主任	大久保 知 宏	宇都宮
		会員増強事業主任	伊 丹 一 之	東京むかで
		国際・交流事業主任	小 原 史奈子	東京たんぽぽ
		ユース事業主任	山 本 剛史郎	川越
	部長	北海道部部长	二本松 能 敬	北見
		北東部部長	涌 澤 博	仙台青葉城
		関東東部部長	衣 笠 輝 夫	埼玉
		東新部部長	神 保 伊和雄	東京むかで
		あずさ部部長	廣 瀬 健	甲府21
		湘南・沖縄部部長	佐 藤 節 子	厚木
		富士山部部長	渡 邊 実 帆	沼津
	監事	監事	鈴 木 茂	横浜つづき
監事		漆 畑 義 彦	富士	
委員長	常置委員会	文献・組織検討委員会委員長	利根川 恵 子	川越
		LT 委員会委員長	北 村 文 雄	厚木
		東日本区ワイズ基金運営委員会委員長	高 田 一 彦	千葉
		東日本区奈良傳賞選考委員会委員長	宮 内 友 弥	東京武蔵野多摩
		東日本区事務所人事委員会委員長	山 田 敏 明	十勝
	事業委員会	地域奉仕・YMCA サービス事業委員会委員長	大久保 知 宏	宇都宮
		EMC 事業委員会委員長	伊 丹 一 之	東京むかで
		国際・交流事業委員会委員長	小 原 史奈子	東京たんぽぽ
		ユース事業委員会委員長	山 本 剛史郎	川越
	特別委員会	ワイズメネット委員会委員長	井 上 優 子	もりおか
		東日本大震災支援対策本部本部長	宮 内 友 弥	東京武蔵野多摩
専任委員等	東日本区定款改訂委員会委員長	辻 剛	横浜つづき	
	ヒストリアン	仙洞田 安 宏	甲府	
	ITアドバイザー	大久保 知 宏	宇都宮	
	トラベルコーディネーター	長 澤 山 泰	東京	
理事スタッフ	広報・伝達（PR）専任委員	渡 辺 大 輔	東京武蔵野多摩	
	スペシャルアドバイザー	山 田 公 平	宇都宮	
東日本区事務所	副書記	山 口 直 樹	東京武蔵野多摩	
	東日本区事務所長	小 山 憲 彦	東京サンライズ	
担当主事	担当主事	光 永 尚 生	三島	

2018-2019年度 東日本区決算

2019. 6. 30

項目	2018-19予算	2018-19決算	算出根拠
収入の部			
東日本区費	13,766,000	12,461,000	会員数前期816名・主事44名/後期822名・主事44名
ハンドブック&ロースター	1,517,500	1,439,400	1,700円×764冊+1,900円×74冊
入会金	480,000	324,000	入会者54名×6000円
物品売上	150,000	50,252	
国際加盟金	36,000	0	
YMIワールド補助金	106,080	98,571	884名×CHF1.00×111.51円
受取利息	0	801	
雑収入	115,000	261,759	アジア太平洋地域SDS資金他
ロースター広告	600,000	585,000	ユース活動費
YVLF負担金	1,200,000	1,220,000	20,000円×61クラブ
ユース活動参加費	120,000	475,090	YVLFリーダー・ワイズ参加費等
収入の部小計	18,090,580	16,915,873	
前期繰越金	6,223,192	9,417,508	
合計	24,313,772	26,333,381	

支出の部			
国際会費	3,990,000	3,429,709	860名×17.50CHF×115.60円/866名×17.50CHF×111.51円
アジア太平洋地域会費	655,500	593,705	860名×USD3×116.35円/866名×USD3×112.98円
アジア太平洋地域災害緊急支援金	211,600	200,122	860名×USD2×116.35円
国際加盟金	36,000	0	
ヤングメンバー補助金	70,000	39,000	6,500円×6人
東日本区大会負担金	460,000	430,000	500円×860名
東日本区事務所費(人件費)	1,200,000	1,200,000	
(家賃)	1,200,000	1,200,000	
会議費	100,000	20,832	飲物代・会議室代
旅費・交通費	2,050,000	2,272,760	委員会・役員会、部研修会LT委員旅費等
区・事業費	1,200,000	784,201	メネット活動費、区大会招待費・表彰等
部・事業費	976,000	958,000	部当たり10万×7部+300円×860名
事務通信費	300,000	436,658	プロバイダー料、電話料、送料
宣伝印刷費	350,000	307,202	区報印刷費2回分、YMIワールド
コピー機カウンターチャージ	400,000	169,237	リース料含む
ハンドブック&ロースター	1,479,000	1,505,736	
消耗品・事務用品費	100,000	77,564	
EMC物品費	635,000	317,564	
慶弔費	50,000	46,278	生花、弔電
銀行手数料	30,000	24,977	送金手数料等
雑費	50,000	0	
予備費	300,000	0	
ユース活動費	630,000	175,641	
YVLF	1,290,000	1,610,086	
活動費補助 理事/次期理事/直前理事	80,000	80,000	理事4万、次期理事2万、直前理事2万
書記/会計	40,000	40,000	2万×2
事業主任	80,000	80,000	2万×4
部長	140,000	140,000	2万×7
委員長/専任委員	80,000	80,000	1万×8
監事	20,000	20,000	1万×2
理事スタッフ	20,000	20,000	1万×2 (副書記、スペシャルアドバイザー)
支出の部小計	18,223,100	16,259,272	
次期繰越金	6,090,672	10,074,109	
合計	24,313,772	26,333,381	

貸借対照表

2019年6月30日

資産の部		負債の部	
現預金	27,594,339	未払金	112,600
貯蔵品	52,274	前受金	1,180,000
立替金	6,793	預り金	22,500
短期貸付金	3,000,000	東日本区ワイズ基金（JEF）	16,170,763
未収入金	0	各種献金残高	2,392,112
		東日本大震災支援募金残高	772,122
		災害募金	29,200
仮払金	100,000	次期繰越金	10,074,109
計	30,753,406	計	30,753,406

特別資金会計

JEF

収入の部		支出の部	
当期入金	609,150	当期支出	0
前期繰越金	15,561,613	次期繰越金	16,170,763
計	16,170,763	計	16,170,763

TOF

収入の部		支出の部	
当期入金	953,100	当期支出（国際送金）	947,900
前期繰越金	1,300	次期繰越金	6,500
計	954,400	計	954,400

CS/ASF

収入の部		支出の部	
当期入金（CS）	906,145	当期支出	1,200,000
（ASF）	252,150	（国際送金）	114,755
前期繰越金	980,371	次期繰越金	823,911
計	2,138,666	計	2,138,666

FF（今期よりSC/ASF会計より分離）

収入の部		支出の部	
当期入金	284,750	当期支出	100,000
前期繰越金	580,685	次期繰越金	765,435
計	865,435	計	865,435

BF

収入の部		支出の部	
当期入金	1,181,710	当期支出（国際送金）	1,183,710
前期繰越金	2,000	次期繰越金	0
計	1,183,710	計	1,183,710

EF

収入の部		支出の部	
当期入金	45,000	当期支出	45,000
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	45,000	計	45,000

RBM

収入の部		支出の部	
当期入金	647,057	当期支出（国際送金）	647,857
前期繰越金	800	次期繰越金	0
計	647,857	計	647,857

YES

収入の部		支出の部	
当期入金	293,600	当期支出（今年度2クラブ分） （アジア太平洋地域送金）	200,000 146,800
前期繰越金	528,116	次期繰越金	474,916
計	821,716	計	821,716

メネット

収入の部		支出の部	
当期入金	384,600	当期支出 （国際送金）	198,021 108,600
前期繰越金	243,371	次期繰越金	321,350
計	627,971	計	627,971

東日本大震災支援募金

収入の部		支出の部	
当期入金	450,334	当期支出	291,978
前期繰越金	613,766	次期繰越金	772,122
計	1,064,100	計	1,064,100

災害募金

収入の部		支出の部	
当期入金	435,842	当期支出（西日本豪雨災害支援）	406,642
前期繰越金	0	次期繰越金	29,200
計	435,842	計	435,842

東日本区ワイズ基金 献金一覧

氏名（所属クラブ）			
宮内友弥（東京武蔵野多摩）	30,000	次期会長・部役員研修会有志	60,000
板村哲也（東京武蔵野多摩）	10,000	東京サンライズクラブ	30,000
長尾昌男（千葉）	10,000	栗本治郎（熱海）	30,000
小山憲彦（東京サンライズ）	10,000	金子 功（横浜）	10,000
辻 剛（横浜つづき）	30,000	尾内昌吉（東京山手）	30,000
伊藤幾夫（東京多摩みなみ）	10,000	倉石 昇（千葉）	70,000
鈴木伊知郎（宇都宮東）	30,000	高田一彦（千葉）	10,000
光永尚生（三島）	10,000	千葉クラブ	10,000
板村哲也（東京武蔵野多摩）	10,000	栗本治郎（熱海）	30,000
田中博之（東京多摩みなみ）	10,000	青木清子（千葉）	10,000
東京多摩みなみクラブ	10,000	辻 剛（横浜つづき）	10,000
光永尚生（三島）	10,000	井上優子（もりおか）	10,000
東京クラブ	9,150	東京北クラブ	10,000
沼津クラブ	100,000		
計			609,150

財産目録

2019年6月30日

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	現金手元在高	61,402	
普通預金	郵便振替	16,685,207	
	みずほ銀行	75,262	
	東京東信用金庫	80,187	
	ゆうちょ銀行	692,122	
	みずほ銀行 (US\$)	159	
定期預金	みずほ定期	10,000,000	
現預金合計			27,594,339
貯蔵品			
	CS年賀切手	52,274	
短期貸付金			
	東京サンライズ 区大会準備金	500,000	
	アジア太平洋地域大会準備金	2,500,000	
未収入金		0	
立替金	区大会備品	6,793	
仮払金	㈱斎藤工芸	100,000	
流動資産合計			3,159,067
2. 固定資産			
固定資産合計			0
資産合計			30,753,406
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
	東日本区大会 理事登録費	55,600	
	Y's YMCAパートナーシップ委員会	57,000	
前受金	2019YVLF分担金	1,180,000	
預り金			
	長野クラブ 区費過送金分	7,500	
	那須クラブ 過送金	6,000	
	東京センテニアル 過送金	9,000	
東日本区ワイズ基金		16,170,763	
東日本大震災支援募金		772,122	
災害募金	熊本大地震支援募金	29,200	
各種献金		2,392,112	
TOF,CS/AFS.FF.BF.EF.RBM.YES.メネット			
流動負債合計			20,679,297
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			20,679,297
正味財産			10,074,109

ワイズメンズクラブ国際協会
2018-2019 年度
東日本区理事 宮内友弥 様

東日本区決算会計監査報告書

私たちは、東日本区定款第 15 条第 2 項(1)の規定に基づき、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の 2018-2019 年度決算(2018 年 7 月 1 日～2019 年 6 月 30 日)の会計監査を行いましたので、次の通り報告いたします。

監査日時：2019 年 7 月 5 日午後 3 時より

監査場所：日本 YMCA 同盟会館 2 階会議室

監査立会人：2018-2019 年度東日本区理事	宮内友弥
2018-2019 年度東日本区会計	長谷川あや子
東日本区事務所所長	小山憲彦

1. 監査方法

提示された収支計算書、貸借対照表、財産目録、特別会計の諸表並びに金融機関の残高証明書、通帳等を照合。

2. 監査結果

監査方法に基づき、2019 年 6 月 30 日現在の会計監査を実施した結果、6 月末における財産の状況、会計処理は適正であることを確認いたしましたので、ここに報告させていただきます。

ワイズメンズクラブ国際協会

2018-2019 年度

東日本区監事

鈴木 茂 監

東日本区監事

漆 畑 義 彦 監

2018-2019年度クラブ別各種献金一覧

2019.5.14

クラブ名	基礎 人数	BF			TOF	CS			ASF	FF	RBM	YES	EF
		現金	切手	合計		現金	年賀	合計					
札幌	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北見	13	26,000	0	26,000	0	16,250	0	16,250	0	0	0	0	0
十勝	17	36,000	0	36,000	23,400	22,500	0	22,500	9,000	9,000	14,400	9,000	0
札幌北	9	0	0	0	11,700	0	0	0	0	0	0	0	0
仙台	16	0	5,062	5,062	20,800	20,000	0	20,000	0	0	0	0	0
前橋	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇都宮	29	0	0	0	37,700	36,250	0	36,250	0	0	23,200	0	0
仙台青葉城	12	0	5,420	5,420	15,600	15,000	0	15,000	0	0	0	0	0
足利	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*会津	5	0	0	0	6,500	6,250	0	6,250	0	0	0	0	0
宇都宮東	8	0	0	0	10,400	10,000	0	10,000	0	0	6,400	0	0
那須	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
もりおか	14	0	286	286	3,800	17,500	1,872	19,372	7,000	6,500	11,200	5,850	0
仙台広瀬川	17	0	840	840	22,100	21,250	0	21,250	0	0	0	0	0
石巻広域	23	5,000	0	5,000	15,000	29,500	0	29,500	2,000	3,000	0	5,000	0
東京江東	18	36,000	0	36,000	23,400	22,500	1,296	23,796	9,000	9,000	60,000	9,000	0
千葉	14	28,000	603	28,603	18,200	17,500	0	17,500	7,000	7,000	11,200	7,000	0
東京グリーン	18	36,000	0	36,000	23,400	22,500	0	22,500	9,000	9,000	14,400	20,000	0
埼玉	7	12,000	0	12,000	7,800	0	0	0	0	0	4,800	3,000	0
東京北	11	22,000	0	22,000	14,300	13,750	0	13,750	5,500	5,500	8,800	5,500	0
所沢	10	20,000	120	20,120	13,000	12,500	0	12,500	5,000	5,000	8,000	5,000	0
東京ひがし	10	0	0	0	13,000	0	0	0	0	0	8,000	0	0
川越	11	22,000	130	22,130	14,300	13,750	0	13,750	5,500	5,500	8,800	5,500	0
茨城	13	13,000	0	13,000	8,450	8,125	0	8,125	3,250	3,250	5,200	3,250	0
東京ベイサイド	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	119,257	0	0
東京	25	79,500	1,152	80,652	32,000	33,040	1,584	34,624	13,400	21,000	24,800	12,000	0
東京むかで	12	24,000	0	24,000	15,600	15,000	0	15,000	6,000	6,000	9,600	6,000	0
東京世田谷	14	28,000	0	28,000	18,200	17,500	0	17,500	7,000	7,000	11,200	7,000	0
東京町田コスモス	9	8,000	0	8,000	8,000	6,000	0	6,000	4,000	4,000	6,400	4,000	0
東京センテニアル	7	3,000	0	3,000	2,000	3,000	0	3,000	500	500	500	500	0
東京多摩みなみ	12	25,000	758	25,758	29,450	19,500	0	19,500	9,500	11,500	14,600	18,500	CHF120
甲府	34	68,000	0	68,000	44,200	42,500	0	42,500	17,000	17,000	27,200	17,000	0
東京山手	13	26,000	240	26,240	16,900	16,250	0	16,250	6,500	6,500	10,400	6,500	0
東京西	15	30,000	928	30,928	25,500	18,750	5,150	23,900	7,500	7,500	12,000	7,500	0
東京武蔵野多摩	12	24,000	348	24,348	15,600	15,000	0	15,000	6,000	6,000	9,600	6,000	0
*松本	11	12,000	0	12,000	7,800	7,500	0	7,500	3,000	3,000	4,800	3,000	0
東京サンライズ	12	24,000	621	24,621	15,600	15,000	7,720	22,720	6,000	6,000	9,600	6,000	0
甲府21	26	52,000	0	52,000	33,800	32,500	0	32,500	13,000	13,000	20,800	13,000	0
東京八王子	17	34,000	378	34,378	22,100	21,250	0	21,250	0	0	13,600	0	0
東京たんぽぽ	5	10,000	978	10,978	10,000	7,500	3,096	10,596	2,500	2,500	6,500	2,500	0
*富士五湖	11	22,000	110	22,110	14,300	13,750	0	13,750	5,500	5,500	8,800	5,500	0
*長野	12	12,000	720	12,720	7,800	7,500	0	7,500	3,000	3,000	4,800	3,000	0
横浜	13	26,000	1,258	27,258	16,900	16,250	0	16,250	6,500	6,500	10,400	6,500	0
*沖縄那覇	9	0	0	0	0	0	0	0	4,500	4,500	0	0	0
鎌倉	8	0	142	142	10,400	10,000	0	10,000	0	0	6,400	0	0
横浜とつか	11	0	2,290	2,290	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0
厚木	16	10,000	234	10,234	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0
金沢八景	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜つづき	16	32,000	72	32,072	20,800	20,000	0	20,000	8,000	8,000	12,800	8,000	0
*沖縄	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱海	45	90,000	2,000	92,000	58,500	56,250	35,012	91,262	22,500	45,000	36,000	45,000	0
沼津	15	30,000	771	30,771	19,500	18,750	0	18,750	7,500	7,500	12,000	7,500	0
伊東	22	99,000	0	99,000	28,600	27,500	0	27,500	11,000	11,000	17,600	11,000	0
三島	11	22,000	198	22,198	14,300	13,750	0	13,750	0	0	8,800	0	0
下田	7	0	0	0	7,500	0	0	0	0	0	0	0	0
熱海グロリー	15	30,000	0	30,000	19,500	18,750	0	18,750	7,500	7,500	12,000	7,500	0
御殿場	24	48,000	636	48,636	31,200	30,000	0	30,000	12,000	12,000	19,200	12,000	0
富士	15	30,000	915	30,915	19,500	18,750	0	18,750	0	0	12,000	0	0
富士宮	19	0	0	0	24,700	23,750	0	23,750	0	0	0	0	0
その他											1,000		45,000
〃													CHF120
合計		1,154,500	27,210	1,181,710	953,100	850,415	55,730	906,145	252,150	284,750	647,057	293,600	45,000

東日本区 ワイズメネット献金一覧表
[2018年7月～2019年6月]

	クラブ名	期首会員数	国内・絵本	国内・大震災	国際・プロジェクト	国際・登録費	合計
北海道部	札幌	8					0
	北見	13					0
	十勝	18					0
	札幌北	9					0
(4)	小計	(48)	0	0	0	0	0
北東部	仙台	16	3,000	3,000	5,000	600	11,600
	前橋	7					0
	宇都宮	29	10,000	6,000	20,000	0	36,000
	仙台青葉城	12	5,000	5,000	3,000	400	13,400
	足利	1					0
	会津	5					0
	宇都宮東	8					0
	那須	6					0
	もりおか	14	20,000	5,000	3,000	1,000	29,000
	仙台広瀬川	17	3,000	4,000	3,000	1,000	11,000
石巻広域	23					0	
(11)	小計	(138)	41,000	23,000	34,000	3,000	101,000
関東東部	東京江東	21	10,000	5,000	3,000	2,000	20,000
	千葉	12	3,000	3,000	3,000	1,000	10,000
	東京グリーン	18	10,000	10,000	5,000	800	25,800
	埼玉	7					0
	東京北	12	5,000	3,000	5,000	600	13,600
	所沢	10					0
	東京ひがし	12					0
	川越	11	5,000	5,000	10,000	0	20,000
	茨城	13					0
	東京ベイサイド	14					0
(10)	小計	(132)	33,000	26,000	26,000	4,400	89,400
東新部	東京	26	30,000	20,000	10,000	1,000	61,000
	東京むかで	13	5,000	0	0	0	5,000
	東京世田谷	14	5,000	5,000	5,000	3,000	18,000
	東京町田コスモス	9	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000
	東京センテニアル	7					0
	東京多摩みなみ	13	3,000	2,000	1,000	200	6,200
(6)	小計	(82)	44,000	28,000	17,000	5,200	94,200
あざさ部	甲府	35					0
	東京山手	13					0
	東京西	16					0
	東京武蔵野多摩	12	1,000	1,000	1,000	0	3,000
	松本	11					0
	東京サンライズ	15	3,000	3,000	3,000	1,000	10,000
	甲府21	26	5,000	5,000	0	0	10,000
	東京八王子	17	5,000	0	5,000	2,000	12,000
	東京たんぼぼ	7					0
	富士五湖	11					0
長野	12					0	
(11)	小計	(175)	14,000	9,000	9,000	3,000	35,000
湘南・沖縄部	横浜	13					0
	沖縄那覇	9					0
	鎌倉	8					0
	横浜とつか	11	6,000	6,000	0	0	12,000
	厚木	16					0
	金沢八景	15					0
	横浜つづき	17					0
	沖縄	13					0
(8)	小計	(102)	6,000	6,000	0	0	12,000
富士山部	熱海	46	9,000	0	0	0	9,000
	沼津	18	20,000	0	0	0	20,000
	伊東	24					0
	三島	11	3,000	1,000	1,000	800	5,800
	下田	8					0
	熱海グロリー	17	2,000	3,000	2,000	3,000	10,000
	御殿場	24	5,000	3,000	0	200	8,200
	富士	16					0
富士宮	19					0	
(9)	小計	(183)	39,000	7,000	3,000	4,000	53,000
その他							0
							0
							0
	合計	(860)	177,000	99,000	89,000	19,600	384,600

2018-2019東日本区ワイズメネット委員会 会計報告

2019年 6月14日
東日本区ワイズメネット委員会
委員長 井上優子
会 計 加藤真子 

■収入の部		
項目	金額	備考
前年度繰越金	3,504	7/7 ワイズメネット委員会開催日に入金
東日本区より	200,000	同上
合計	203,504	
■支出の部		
項目	金額	備考
交通費補助	173,790	井上 67,990円、吉田 36,700円、加藤 46,700円 大村 16,800円、渡邊 5,600円
ワイズメネットのつどい補填	14,458	10/16ワイズメネットのつどい 不足分補填
コピー代	3,640	6/1東日本区大会ワイズメネットアワー プログラム印刷費 * カラー1枚20円×4枚×33部=2,640円 大村 会議用書類コピー代 1,000円
メネットアワー昼食代	2,550	6/1ワイズメネットアワー昼食代3名(神崎様、田中様、講師大村委員)
会議費	4,238	6/14 委員会(茶菓子代)
次年度繰越	4,828	
合計	203,504	



Notes & News

国際会長主題
アジア太平洋地域会長
東日本区理事

「私たちは変えられる」
「アクション！」
「為せば、成る」

“Yes, We Can Change!”
“Action!”
“No challenge, No fruit.”

2019. 11. 15 発行 第2号通巻61号



絆を深め 共に前へ 感謝を忘れず

ワイズメネット委員会委員長 井上 優子（もりおか）

○ワイズメネット委員会

第1回 2018年7月7日 年間計画、プロジェクトについて

第2回 2018年9月7日「ワイズメネットのつどい」について

第3回 2019年4月24日「ワイズメネットアワー」について

第4回 2019年6月14日) 総括、贈呈絵本発送作業

○第22回東日本区メネットのつどい開催

日時 2018年10月6日(土)

会場 福島県郡山市「郡山キリスト福音教会」

講演 「福島で生きていく「危険」と「安全」の対立する間で」

講師 Fukushima HOPE 代表 木田 恵嗣氏

講演後、猪苗代湖へ復興支援プチ旅行

参加者 41名

○各部・クラブのメネット事業

北東部 4クラブ合同メネット会(2018年7月11日) 仙台、仙台青葉城、広瀬川、もりおか

関東東部 女子会(2018年12月5日)

あずさ部 3クラブ合同メネット会(2019年4月16日) 東京八王子、甲府、甲府21

仙台青葉城クラブメネットナイト(2018年10月18日)

三島クラブメネット料理教室(2019年1月26日)
東京八王子クラブメネットナイト(2019年2月23日)

東京クラブメネットナイト(2019年3月12日)
仙台広瀬川クラブエプロンシアター制作、寄贈(通年)

○献金状況 25クラブ 384,600円

・国内プロジェクト

絵本を送る活動 YMCA 関係 43 施設に 148 冊寄贈
東日本大震災支援

東日本区ワイズメネットアワーにて寄託金授与
今年度(昨年度寄託金)支援先

1. 特定非営利活動法人「STORIA」

2. ふくしま HOPE プロジェクト

・国際プロジェクト

「アルバニア首都テイラナでの働く若者への支援」(2018-2020)

○第22回「東日本区ワイズメネットアワー」

日時 2019年6月1日(土) 10:00~11:30

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟502号室、カルチャー棟「とき」

参加者 31名

講演 大村知子氏(直前委員長)

「ニーズは多様!! バリアフリー

~バリアがあそこに、ここに、貴方にも~」

アジア太平洋地域大会平和七夕折鶴制作協力、笑顔の絶えない委員さん、継続してお働き、この2点に心より感謝、感謝。